

# 令和 6 年度

## 県営住宅上井団地 3 棟外壁改修工事

| 図 番             | 図 面 名 称                       | 縮 尺             | 図 番             | 図 面 名 称          | 縮 尺              |
|-----------------|-------------------------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|
| A-01            | 改修工事特記仕様書 (1)                 | —               | A-16            | 調査図 ①            | 1/100            |
| A-02            | 改修工事特記仕様書 (2)                 | —               | A-17            | 調査図 ②            | 1/100            |
| A-03            | 改修工事特記仕様書 (3)                 | —               | A-18            | 調査図 ③            | 1/100            |
| A-04            | 配置図、付近見取図、改修工事仕様概要            | 1/500           | A-19            | 調査図 ④            | 1/100            |
| A-05            | 外部仕上表                         | —               | A-20            | 調査図 ⑤            | 1/100            |
| A-06            | 【改修前・改修後】1階、2階平面図兼 建具配置図      | 1/100           | A-21            | 調査図 ⑥            | 1/100            |
| A-07            | 【改修前・改修後】3階平面、屋根伏図兼 建具配置図     | 1/100           | A-22            | 調査図 ⑦            | 1/100            |
| A-08            | 立面図                           | 1/100           | A-23            | 調査図 ⑧            | 1/100            |
| A-09            | 断面図 (参考図)                     | 1/100           | A-24            | 調査図 ⑨            | 1/100            |
| A-10            | 【改修前・改修後】断面詳細図 (1)            | 1/30            | <del>A-25</del> | <del>調査図 ⑩</del> | <del>1/100</del> |
| A-11            | 【改修前・改修後】断面詳細図 (2)            | 1/30            | A-26            | 部分詳細図            | 1/10             |
| A-12            | 【改修前・改修後】断面詳細図 (3)            | 1/30            | A-27            | 仮設計画図 (参考図)      | 1/100            |
| A-13            | 【改修前・改修後】断面詳細図 (4)            | 1/30            |                 |                  |                  |
| <del>A-14</del> | <del>【改修前・改修後】断面詳細図 (5)</del> | <del>1/30</del> |                 |                  |                  |
| A-15            | 外部建具表                         | 1/50            |                 |                  |                  |
|                 |                               |                 |                 |                  |                  |

# 建築改修工事仕様書

## I. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所 倉吉市小田651、652  
2. 敷 地 面 積 7,420.17 m<sup>2</sup>  
3. 地 域 地 区 都市計画地域 (○内 ・ 外) 市街化調整区域 (○内 ・ 外)  
用途地域 ( ) 防火地域 (指定なし)

#### 4. 建物概要

[illegible]

## Ⅱ. 建築改修工事仕様

- ## 共通仕様
- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。
  - (2) 調査員は、建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用いるとする。
  - (3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- ## 2. 特記仕様
- (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
  - (2) 特記事項は◎印のついたものを適用する。
    - 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
    - ◎印と◎印のついた場合は共に適用する。
  - (3) 項目に記載【 】の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
    - ( ) の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
  - (4) ◎印は、「国庫」による環境物品等の調達への推進等に関する法律（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を出す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和４年２月２６日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
  - (5) 関係法令（条例を含む）の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合にも、その対応等について、監督職員と協議を行うものとする。
  - (6) 材料及び製造工程等の記載は順不同である。

| 章        | 項目                        | 特記事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 一般共通事項 | 1 適用基準等                   | ※ 建築工事標準詳細図（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という）<br>※ 建築改修工事監理指針（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修<br>※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編（平成３０年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修<br>・ 建築解体工事標準仕様書（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修<br>・ 建築工事監理指針（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|          | 2 官公庁その他への手続<br>[1. 1. 3] | 工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|          | 3 電気保安技術者<br>[1. 3. 3]    | 担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|          | 4 工事安全計画書<br>[1. 3. 7]    | 建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|          | 5 発生材の処理等<br>[1. 3. 12]   | ・ 引渡しを要するもの（ ）<br>・ 特別管理産業廃棄物（ ）<br>処理方法（ ）<br>・ 現場において再利用を図るもの（ ）<br>・ 再生資源化を図るもの（ ）<br>・コンクリート塊   ・アスファルトコンクリート塊   ・建設発生木材<br>・ ＰＣＢ含有シーリング材の調査・処理<br>・第一次判定<br>現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。<br>採取箇所 ※図示<br>採取箇所数 計 箇所<br>・第二次判定<br>専門分析機関にてＰＣＢ含有量の分析を行う。<br>分析回数 計 箇所<br>・除去処理工事<br>除去範囲 ※図示<br>・ せつこうボードの処理<br>・石綿含有せつこうボード   改修特記仕様書第９章による<br>・ひ素・カドミウム含有せつこうボード<br>・製造業者に回収委託<br>・埋立処分（管理型最終処分場）<br>処分施設の名称・所在地（ ）<br>・ 石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせつこうボード<br>・再資源化（再資源化施設）   ・最終処分（管理型最終処分場）<br>処分施設の名称・所在地（ ）                                                                                                                                                                      |
|          | 6 環境への配慮<br>[1. 4. 1]     | 化学物質を放散させる建築材料等<br>1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。<br>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリヤ樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上り塗材は、アセトアルデヒド及びブチルエチルを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。<br>② 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。<br>③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジノールブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。<br>④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチルエチルを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。<br>また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。<br>2) ホルムアルデヒド放散量の区分において、規制対象外とは次の①又は②に該当する材料を指す。<br>① 建築基準法施行令第20条の第7項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料<br>② 建築基準法施行令第20条の第7項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 |

7

材料の品質等  
[1. 4. 2.]

3) ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の①又は②に該当する材料を指す。  
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド放散建築材料  
② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料  
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（資材（材料及び機械を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負担軽減に配慮されていること。）に留意する

材料・機材等の品質及び性能  
1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能有するものとする。  
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承認を受ける。  
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。  
4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。  
① 品質及び性能に関する試験データが整備されている。  
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われている。  
③ 安定的な供給が可能である。  
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している。  
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。  
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられている。  
5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料

|               |              |
|---------------|--------------|
| 床型枠用鋼製デッキプレート | 現場発泡断熱材      |
| 鉄骨柱下無収縮モルタル   | フリーアクセスフロア   |
| 無収縮グラウト材      | 可動間仕切        |
| 乾式保溫材         | 移動間仕切        |
| 既設合モルタル       | トイレブース       |
| ルーフドレン        | 煙突用成形ライニング材  |
| 吸水調整材         | 天井点検口        |
| 錠前類           | 床点検口         |
| クローザ預         | グレーチング       |
| 自動扉機構         | 屋上緑化システム     |
| 内閉式上吊り引戸機構    | トップライト       |
| 重量シャッター       | ポリマーセメントモルタル |
| 軽量シャッター       | 既設合目地材       |
| オーバーヘッドドア     | 鋼鉄製ふた        |
| 防水剤           |              |

8

石綿含有建材の調査  
[1. 5. 1.]

調査  
※石綿含有建材の事前調査  
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う  
資与資料（石綿含有分析調査結果（10検体分））  
・分析による石綿含有建材の調査  
分析対象  
アクリノライト、アモサイト、アンソファイト、クリノタイル、クロシドライト、トレモライト  
分析方法

| 材料名  | 分析方法（定性）                   | 分析方法（定量）                   |
|------|----------------------------|----------------------------|
|      | JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 | JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 |
| ・ 箇所 |                            | ・ 箇所                       |
| ・ 箇所 |                            | ・ 箇所                       |
| ・ 箇所 |                            | ・ 箇所                       |

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと  
サンプル数 1箇所あたり3サンプル  
採取箇所 ・ 図示

9

施工数量調査  
[1. 6. 2.]

調査範囲 ①図示  
調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・ 図示  
外壁調査は、外壁改修フロアに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う  
屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。  
また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する（必要に応じて写真等を添付する。）

10

調査のための破壊部分の補修  
[1. 6. 3.]

補修方法 ※ 図示

11

技能士  
[1. 7. 2.]

下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするものと、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う  
（技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者）  
また、その技能士は、その者が技能士であることがわかる名札（下図参照）を常時着用する

| 工事種目   | 技能検定職種     | 技能検定作業                                                                                                                                                                        |
|--------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 仮設工事   | とび         | ・ とび作業                                                                                                                                                                        |
| 防水改修工事 | 防水施工       | ・ アスファルト防水工事作業<br>・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業<br>・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業<br>・ 合成ゴム系シート防水工事作業<br>・ 塩化ビニルシート防水工事作業<br>・ セメント系防水工事作業<br>・ シーリング防水工事作業<br>・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業<br>・ FRP防水工事作業 |
| 外壁改修工事 | 樹脂接着剤注入施工  | ・ 樹脂接着剤注入工事作業                                                                                                                                                                 |
|        | 左官         | ・ 左官作業                                                                                                                                                                        |
|        | タイル張り      | ・ タイル張り作業                                                                                                                                                                     |
| 建具改修工事 | サッシ施工      | ・ ビル用サッシ施工作業                                                                                                                                                                  |
|        | ガラス施工      | ・ ガラス工事作業                                                                                                                                                                     |
|        | 自動ドア施工     | ・ 自動ドア施工作業                                                                                                                                                                    |
|        | 建具製作       | ・ 木製建具加工作業                                                                                                                                                                    |
|        | ガラス用フィルム施工 | ・ 建築フィルム作業                                                                                                                                                                    |
| 内装改修工事 | 建築大工       | ・ 大工工事作業                                                                                                                                                                      |
|        | 建築板金       | ・ 内外装板金作業                                                                                                                                                                     |
|        | 内装仕上施工     | ・ 鋼製下地工事作業<br>・ プラスチック系床仕上工事作業<br>・ カーペット系床仕上作業<br>（2級及びプラスチック系仕上工事作業を含む）                                                                                                     |
|        | 表装         | ・ 壁装作業                                                                                                                                                                        |
|        | 左官         | ・ 左官作業                                                                                                                                                                        |
|        | タイル張り      | ・ タイル張り作業                                                                                                                                                                     |

|  |  |          |            |                     |
|--|--|----------|------------|---------------------|
|  |  | 塗装改修工事   | 塗装         | 建築塗装作業              |
|  |  | 耐震改修工事   | とび         | ・ とび作業              |
|  |  |          | 鉄筋施工       | ・ 鉄筋組立作業            |
|  |  |          | 型枠施工       | ・ 型枠工事作業            |
|  |  |          | コンクリート圧送施工 | ・ コンクリート圧送工事作業      |
|  |  |          | 鉄工         | ・ 構造物鉄工作業           |
|  |  | 環境配慮改修工事 | 配管         | ・ 建築配管作業            |
|  |  |          | 路面表示施工     | ・ 溶解ペイントマーカール工作業    |
|  |  |          |            | ・ 加熱ペイントマシンマーカール工作業 |
|  |  |          | 造園         | ・ 造園工事作業            |

《技能士名札参考図》

技能士の職種により色を変えることも可

技能士の種別

技能士の級別

技能士本人の住所

名札の発行元

90 mm

12化学物質の濃度測定  
[1.7.9]

1測定対象室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。  
・パラジクロロベンゼンを追加して分析を行う  
測定対象室（ ）  
2パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。  
①30分間換気  
測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。  
②5時間閉鎖  
①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。  
③測定  
イ ②の状態のままで測定する。  
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。  
ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。  
④分析  
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。  
⑤その他  
監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

13完成写真

下記のものを経験職員に提出する。

| 区 分      | 分類・規格     | 撮影箇所     | 部数 | 備考 |
|----------|-----------|----------|----|----|
| ※ 工事記録写真 | カラーサーベイス判 | 各工種の工程毎  | 1部 |    |
| ※ 完成写真   | カラーサーベイス判 | ・ 内部 箇所  |    |    |
|          |           | ○ 外部 4箇所 | 2部 |    |
| ・        | カラーキャベイス判 | ・ 内部 箇所  |    |    |
|          |           | ・ 外部 箇所  |    |    |
| ・ パネル    | カラー       | ・ 四切 箇所  |    |    |
|          |           | ・ 半切 箇所  |    |    |
|          |           | ・ 全紙 箇所  |    |    |

○ 電子データ又はネガの提出 [工事記録写真] ( ・ 要 ○ 不要)  
○ 電子データ又はネガの提出 [完成写真] ( ○ 要 ・ 不要)

14完成時の提出図書  
[1.9.1.2]

下記のものを経験職員に提出する  
※ 原図 A 1版又は A 2版 (設計図の第2原図訂正不可) 1部  
※ CADデータ 1式  
※ 原図の大型コピー (白焼) の2つ折製本 2部  
※ 縮小版2つ折製本 (A4版) 2部  
・ 複写 縮小版 A3バラ焼 部  
完成図の種類及び内容 (改修前後の状態が分かるように整備する)  
○ 案内図・配置図 : 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む  
○ 改修概要図 : 改修概要、部位等を表示する  
○ 平面図 : 室名、耐震壁 (防火壁)、避難施設等を表示する  
○ 立面図 : 外壁仕上、補修範囲等を表示する  
○ 断面図 : 階高、天井高等を表示する  
○ 仕上表 : 屋外、屋内 (各階) の仕上表を表示する  
・ 構造図 : 杭、構造躯体等を表示する  
・ その他 : ( )  
・ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける

15設備工事との取り合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

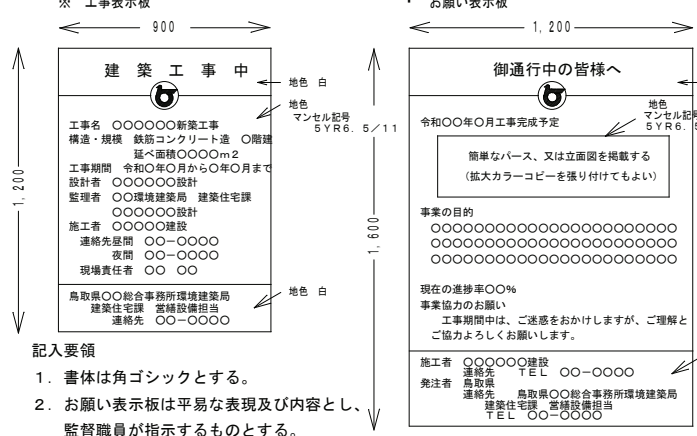
| 設備工事との取り合い                   |         | 建 築 | 電 気 | 機 械 |
|------------------------------|---------|-----|-----|-----|
| ・ コンクリート壁、床、梁貫通部             | 補強      | ※   | ・   | ・   |
|                              | 開口      | ・   | ※   | ※   |
| ・ 鉄骨道の開口及び補強                 |         | ※   | ・   | ・   |
| ・ 照明器具・幹線等の吊りボルト             |         | ・   | ※   | ・   |
| ・ 軽重量鉄骨のボックス取付用下地            |         | ・   | ※   | ・   |
| ・ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの          | 仮付      | ・   | ※   | ・   |
| 仮枠及び埋込部分の補強                  | 補強      | ※   | ・   | ・   |
| ・ OAFフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強  |         | ※   | ・   | ・   |
| ・ 埋込型機器取付用の天井                | 切込      | ・   | ※   | ※   |
| 壁の切込加工、下地の補強                 | 補強      | ※   | ・   | ・   |
| ・ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び    |         |     |     |     |
| ドアクローザ、フロアホジ                 |         | ※   | ・   | ・   |
| ・ 電気室、自家発電室などの基礎及びピット (蓋を含む) |         | ※   | ・   | ・   |
| ・ テレビアンテナ                    | 基礎      | ※   | ・   | ・   |
|                              | アンカーボルト | ・   | ※   | ・   |
| ・ 天井点検口                      |         | ※   | ・   | ・   |
| ・ 機器類のコンクリート基礎               | 屋内・屋外設置 | ・   | ※   | ※   |
|                              | 屋上設備    | ※   | ・   | ・   |

16撤去部分

コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。  
ダイヤモンドカッター切り深さ (※30mm程度 )

17適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。  
基準風速  $V_0 = \text{m/s}$   
地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV  
積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表 ( )

|    |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18 | 保全に関する資料<br>[1. 9. 3]                  | 下記のものにA4版ファイルに製本して監督職員に提出する。<br>○ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表<br>○ 機器性能試験成績書及び取扱説明書<br>○ 保証書<br>○ 官公署届出書類（保守に必要とするもの）<br>○ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書<br>・                                                                                                                                                                  |
| 19 | 火災保険等                                  | 工事的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。（保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで（概ね工期+21日）とする。）                                                                                                                                                                                                                                   |
| 20 | 環境配慮                                   | 鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ・ 非対象工事                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 21 | 建設リサイクル法                               | ※ 対象工事 ・ 非対象工事                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 22 | 鳥取県福祉のまちづくり条例                          | ※ 対象工事 ・ 非対象工事                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 23 | 景観形成条例                                 | ※ 対象工事 ・ 非対象工事                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 24 | 建築物省エネ法                                | ※ 対象工事 ・ 非対象工事                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 1  | 騒音・粉じん等の対策<br>[2. 1. 3]                | 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ○ 防音シート<br>防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲<br>※ 工事に必要な範囲 ・                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2  | 足場その他<br>[2. 2. 1]<br>[表2. 2. 1]       | 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり置置き方式又は（3）手すり先行専用方式により行う。<br>外部足場 ○ 設置する（範囲 ※工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない<br>防護シート ・ 設置する（範囲 ※工事に必要な範囲 ・ ） ○ 設置しない<br>内部足場 ○ 設置する（※即立、足増板等 ・ ） ・ 設置しない<br>材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種<br>C種：利用可能なエレベーター（ ）<br>D種：利用可能な階段（ ） |
| 3  | 既存部分の養生<br>[2. 3. 1]                   | 養生方法等<br>○ 既存部分の養生方法 ※ビニルシート、合板等による<br>・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等 ・<br>・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニルシート等（取外し再取り付けを行う） ・<br>保管場所 ※構内既存施設内 ・<br>・ 固定された家具等（備品、机、ロッカー等）の移動 ※行方（図示） ・<br>既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。                                                           |
| 4  | 仮設間仕切り<br>[2. 3. 2]                    | 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示 ・<br>仮設間仕切りの種類と材質等<br>・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示<br>A、B種の仕上げ材 ※石膏ボード（GB-R 厚さ9.5mm） ・ 合板（普通合板 厚さ9mm）<br>A、B種の片面への塗装等 ・ 行う ※行わない<br>A種のガラスウール等の充填材<br>※ 行う（JIS A 6301グラスウール吸音材 2号32K 厚50mm）<br>・ 行わない<br>仮設扉の種類 ※木製（合板張り程度） ・                                                                        |
| 5  | 監督職員事務所<br>[2. 4. 1]                   | ※ 設ける m程度 ・ 設けない<br>現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。<br>・ 既存建物内の一部を使用する（場所）<br>・ 構内に新設する 規模（ m）                                                                                                                                                                                                                    |
| 6  | 表示板                                    | ※ 工事表示板 ・ お問い合わせ板<br>                                                                                                                                                                                                       |
| 7  | 工事用水                                   | 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ）                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 8  | 工事用電力                                  | 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ）                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 9  | 工事用仮設物                                 | 構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 10 | 工事現場のイメージアップ                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 1  | 降雨時に対する養生方法<br>[3. 1. 3]               | ※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。<br>・                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 2  | 既存防水層の処理<br>[3. 1. 4]<br>[3. 2. 3、4、6] | 既存保護層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ○ 行わない<br>既存防水層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ○ 行わない<br>露出防水層表面の仕上げ塗装の除去<br>・ 行う（ ・ M4S ・ M4SI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X）<br>○ 行わない<br>改修用ドレン<br>・ 設ける（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX）<br>○ 設けない                                                                                       |

[illegible]

7

塗装改修工事

1

材料

[7. 1. 3]

2

下地調整

[7. 2. 1~7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 4. 2, 3]

4

仕上げ塗料塗り

[7. 5. 2~7. 12. 2]

9

環境配慮改修工事

1

石綿含有建材の除去工事

[9. 1. 1]  
[9. 1. 3~5]

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。

施工調査

石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び資与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。  
調査範囲（・・図示）  
資与資料 

石綿含有分析調査結果（6検体分）

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象  
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリンタイル、クロシドライト、トシモライト

分析方法

| 材料名 | 定性分析                        | 定量分析                       |
|-----|-----------------------------|----------------------------|
|     | JIS A 1401-13X(JIS A 1401-2 | JIS A 1401-3X(JIS A 1401-4 |
|     | ・箇所                         | ・箇所                        |
|     | ・箇所                         | ・箇所                        |

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと  
サンプル数 1箇所あたり3サンプル  
採取箇所・図示  
分析結果については、監督職員に報告すること

石綿粉塵濃度測定

| 測定時期、場所及び測定点 |      |                   |                                    |
|--------------|------|-------------------|------------------------------------|
| 適用           | 測定名称 | 測定場所              | 測定点（各施工箇所ごと）                       |
| ・            | 測定 1 | 処理作業前             | 処理作業室内<br>・計点                      |
| ・            | 測定 2 |                   | 調査対象室外部の付近<br>・計点                  |
| ・            | 測定 3 | 処理作業中             | 処理作業室内<br>・計点                      |
| ・            | 測定 4 |                   | セキュリティゾーン入口<br>・計点                 |
| ※            | 測定 5 |                   | 集じん・排気装置の排出<br>口（処理作業室外の場合）<br>・計点 |
| ※            | 測定 6 |                   | 処理作業室外<br>・施工区周辺・敷地境界<br>・計点       |
| ※            | 測定 7 | 処理作業後<br>（シート養生中） | 処理作業室内<br>・計点                      |
| ・            | 測定 8 | 処理作業後<br>（シート撤去後  | 処理作業室内<br>・計点                      |
| ・            | 測定 9 | 1週間以降）            | 調査対象室外部の付近<br>・計点                  |

測定方法

・自動測定機による測定

| 測定名称  |       | 測定方法                                                                             |  |
|-------|-------|----------------------------------------------------------------------------------|--|
| ・測定 4 | ・測定 5 | 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 |  |

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹き付け材の除去

除去対象範囲 ※図示

除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による

除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化・セメント固化）

除去した石綿含有吹き付け材等の処分  
・埋立処分（管理型最終処分場）・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去

除去対象範囲 ※図示

除去工法 ※原形のまま、手ばらし・破砕して除去

除去した石綿含有保温材の処分  
・埋立処分（管理型最終処分場）・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板等の除去

除去対象範囲 ※図示

除去した石綿含有成形板の処分  
・石綿含有石こうボード  
※埋立処分（管理型最終処分場）

・石綿含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板  
・埋立処分（管理型最終処分場）・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有仕上塗材の除去

除去工法・  
※石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6による条措置と同時に効果有する措置とされる工法  
・集じん装置併用手工具ケレン工法  
・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）  
・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）  
・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）  
・剥離剤併用手工具ケレン工法  
・剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）  
・剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）  
・剥離剤併用超音波ケレン工法  
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

除去対象範囲 ※図示

作業場の隔離 ※行わない・行う

試験施工 ※行わない・行う

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示・

石綿作業主任者  
特定科学物質等作業主任者技術講習を終了した者の内から選任する。  
特別管理産業廃棄物管理責任者  
保温材については、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。

A-03

県営住宅上井団地3棟外壁改修工事

改修工事特記仕様書（3）

株式会社e-MOMENT

管理建築士 1級建築士登録第354253号  
山田 大生

鳥取県  
令和6年度  
J2400441  
中部環境建築局

A2 NON

A3 縮小率70.7%

【改修工事仕様概要】

- ・本工事に於いて、公的機関等で事前協議、各種届出手続きが必要な場合は、全て、受注者の責任に於いて行うこと
- ・工事車両の通行に際しては、事故防止に十分注意すること
- ・クレーン車両の使用時は、車両附近に交通誘導員を配置し、通行者及び利用者、周辺建築物、周辺工作物等の事故防止に十分注意すること
- ・本工事に伴い、敷地内通路、周辺建物、周辺工作物等に被害、損傷等を与えた場合は、すみやかに監督員に報告すると共に、請負業者の責任に於いて復旧すること
- ・本工事に於いて使用する建設機械（クレーン車両、発動発電機含む）は、排出ガス対策型建設機械を使用し、かつ、低騒音型、低振動型を使用すること
- ・本工事に解体撤去作業のホコリ対策についても、頻繁に清掃するなど、塵埃が起きないように十分配慮すること
- ・本工事に伴う不燃物、可燃物及び再生可能物等は、別々に分類し、処分すると共に産業廃棄物処理に関する法律を遵守すること
- ・本工事で撤去された搬出物が、敷地内、道路内等に落下することのないよう、運搬車両に落下防止措置を行うこと
- ・本工事は、高所での工事作業が主であるため、落下物で人身事故、損傷事故がないよう十分注意すること、また、作業道具等、落下防止措置を行うこと
- ・また、住人が居住しながらの工事となるため、安全面等を配慮し、使用上迷惑の掛からないよう施工を行うこと
- ・外部足場設置について、樹木等で支障となる部分がある場合は、監督員と協議を行うこと（軽微な枝払い程度で対応）

【特記事項】

- ・施工に先立ち、事前調査（目視・打診等）を実施し、報告書及び施工計画書を作成後監督員と協議を行い、承認を得て施工すること

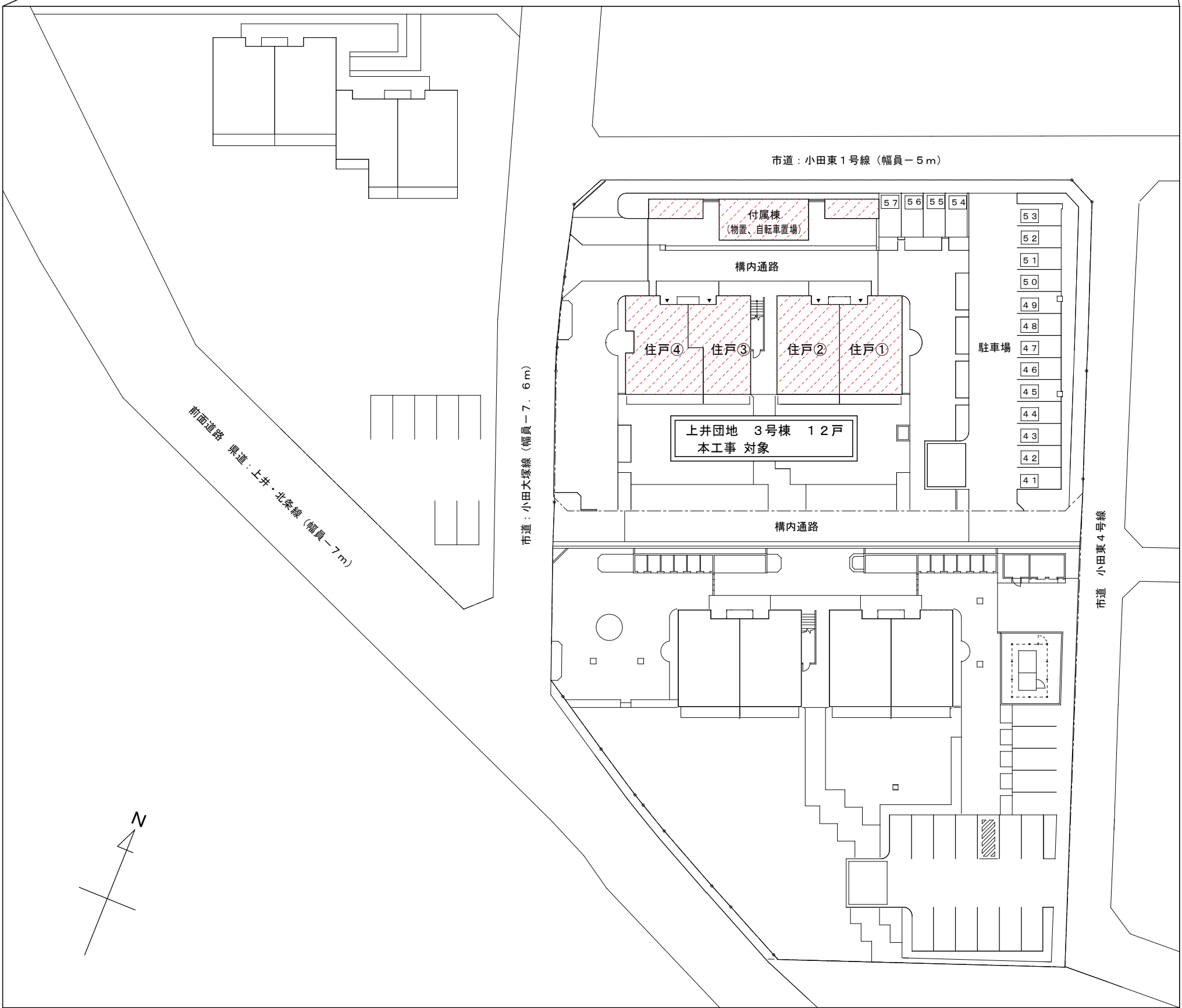
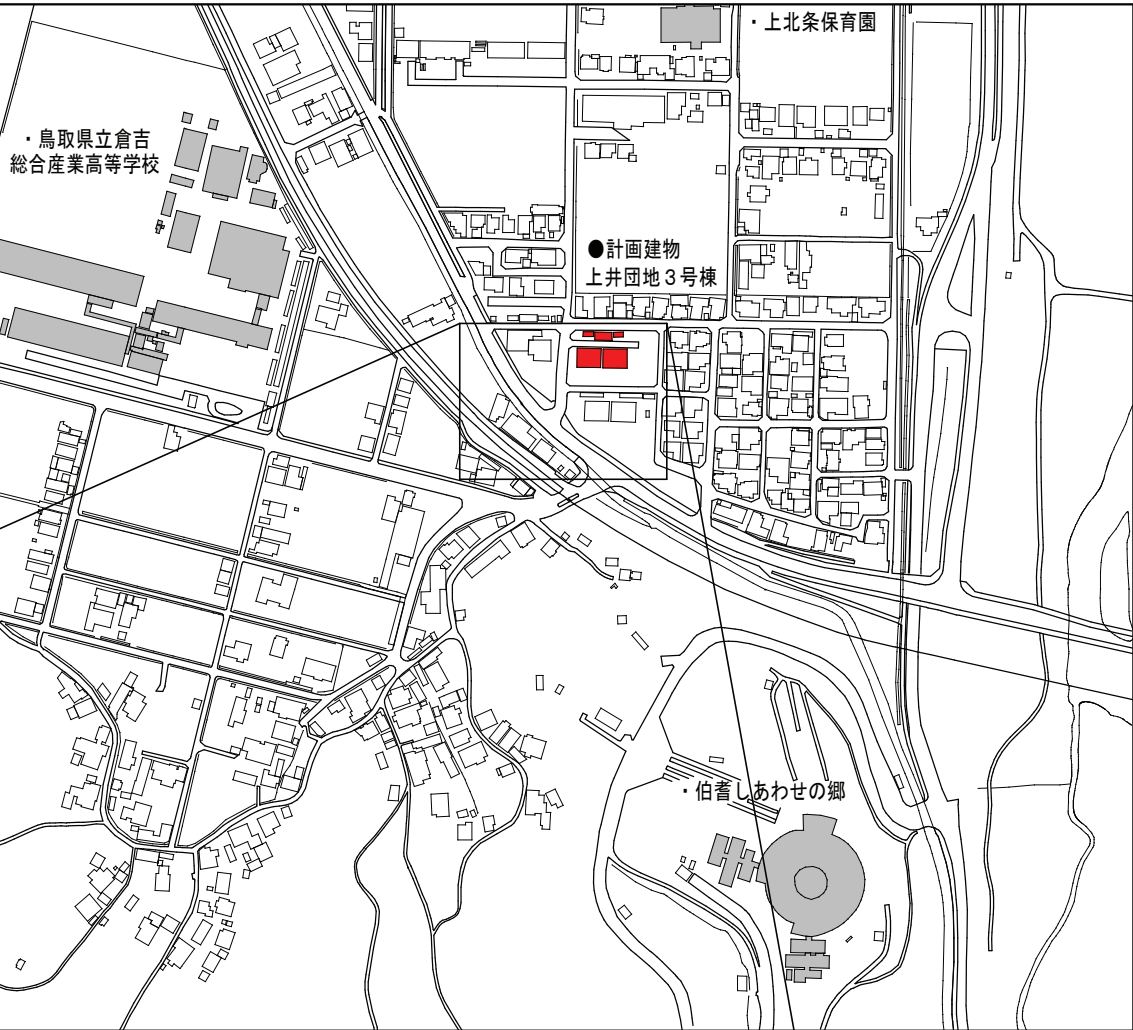
【住棟 改修工事概要】

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 屋根改修       | ・既存ケミასルーフ防水は既存のまま 高圧ポンプによる水洗い・清掃 → 塗膜防水（X-2工法）新設<br>・瓦葺き部分について、劣化状況の調査を行う。調査結果により監督員と協議を行い、改修方針を決定すること。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 外壁改修       | ・既存ルーフトレンは塗装改修（DP2級）を施す。<br><br>〈劣化部の補修〉<br>・既存塗膜除去等（石綿含有塗材）：既存塗膜剥離工法（参考「バイオハクリ工法」）<br>・亀裂部（0.2mm以上1.0mm未満）：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法<br>・コンクリート浮き、剥落部（露筋部含む）：ポリマーセメントモルタル充填工法（鉄筋露出部は、清掃、防錆処理）<br><br>〈仕上〉<br>・外 壁：防水形複層塗材 RE ローラー工法 ※階段室一部腰壁：トップコートのみ塗装仕上げ（モルタル面は既存のままとする）<br>・軒天井：既存モルタル仕上げ部分 → 既存のまま<br>・防 水：事前調査にて躯体打継目地、化粧目地、外部建具周囲シーリング等再充填工法にてシーリング打ち直し（PU-2） |
| バルコニー床など改修 | ・バルコニー床面、排水溝は、既設コンクリートコテ押さえの上、塗膜防水（X-2工法 防滑仕上）を新設する<br>・既存ルーフトレンは塗装改修（DP2級）を施す。                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| その他        | ・住戸玄関扉を塗装改修とする（※共用廊下側見えがかり部、枠のみ）<br>・1階の階段下倉庫扉の塗装改修とする（※外部見えがかり部、枠のみ）                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

【付属棟 改修工事概要】

|      |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 屋根改修 | ・既存防水モルタルは既存のまま 高圧ポンプによる水洗い・清掃 → 塗膜防水（X-2工法）新設                                                                                                                                                                                                             |
| 外壁改修 | 〈劣化部の補修〉<br>・亀裂部（0.2mm以上1.0mm未満）：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法<br>・コンクリート浮き、剥落部（露筋部含む）：ポリマーセメントモルタル充填工法（鉄筋露出部は、清掃、防錆処理）<br><br>〈仕上〉<br>・外 壁：防水形複層塗材 RE ローラー工法（モルタル面は既存のままとする）<br>・軒天井：既存コンクリート打放し部分 → 既存のまま<br>・防 水：事前調査にて躯体打継目地、化粧目地、外部建具周囲シーリング等再充填工法にてシーリング打ち直し（PU-2） |
| その他  | ・各物置の中は既存のままとする。<br>・既存建具は既存のままとする。                                                                                                                                                                                                                        |

配置図 S=1/500



|              |                    |                                |             |
|--------------|--------------------|--------------------------------|-------------|
| A-04         | 県営住宅上井団地3棟外壁改修工事   |                                | A2 S=1/500  |
|              | 配置図、付近見取図、改修工事仕様概要 |                                |             |
| 株式会社e-MOMENT |                    | 管理建築士 1級建築士登録第354253号<br>山田 大生 | A3 縮小率70.7% |

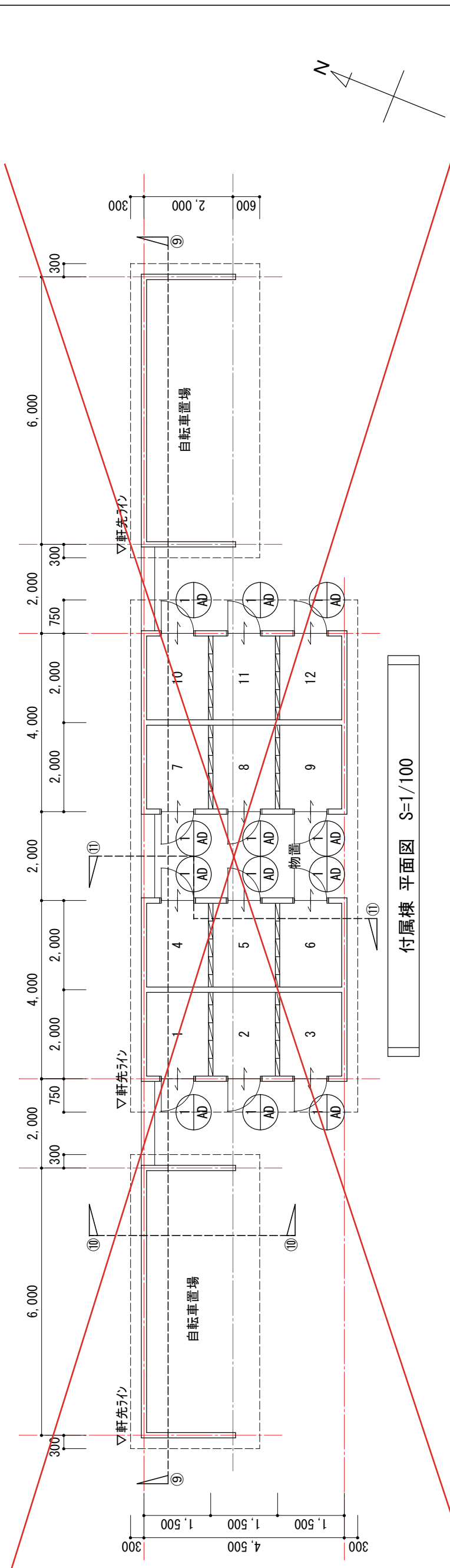
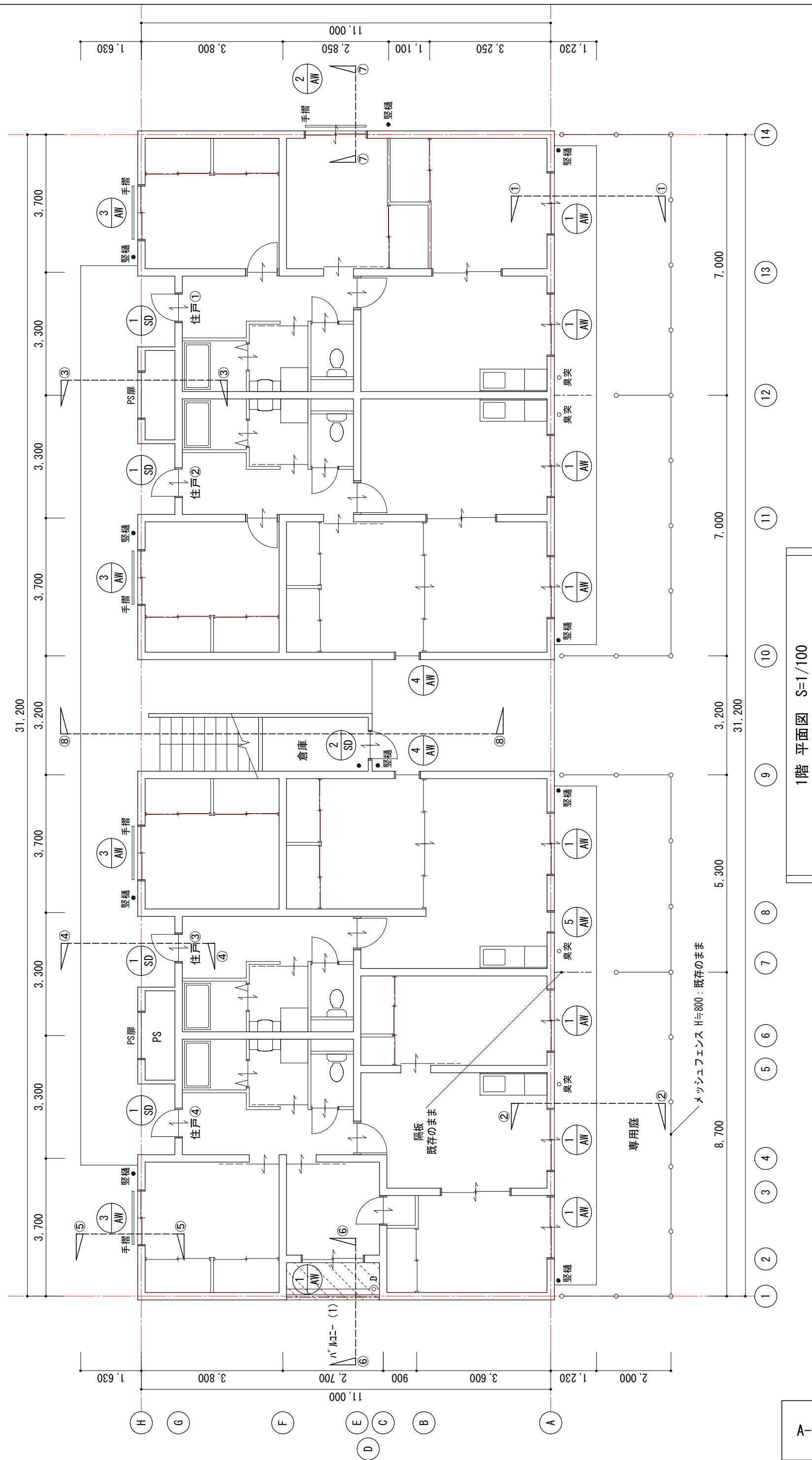
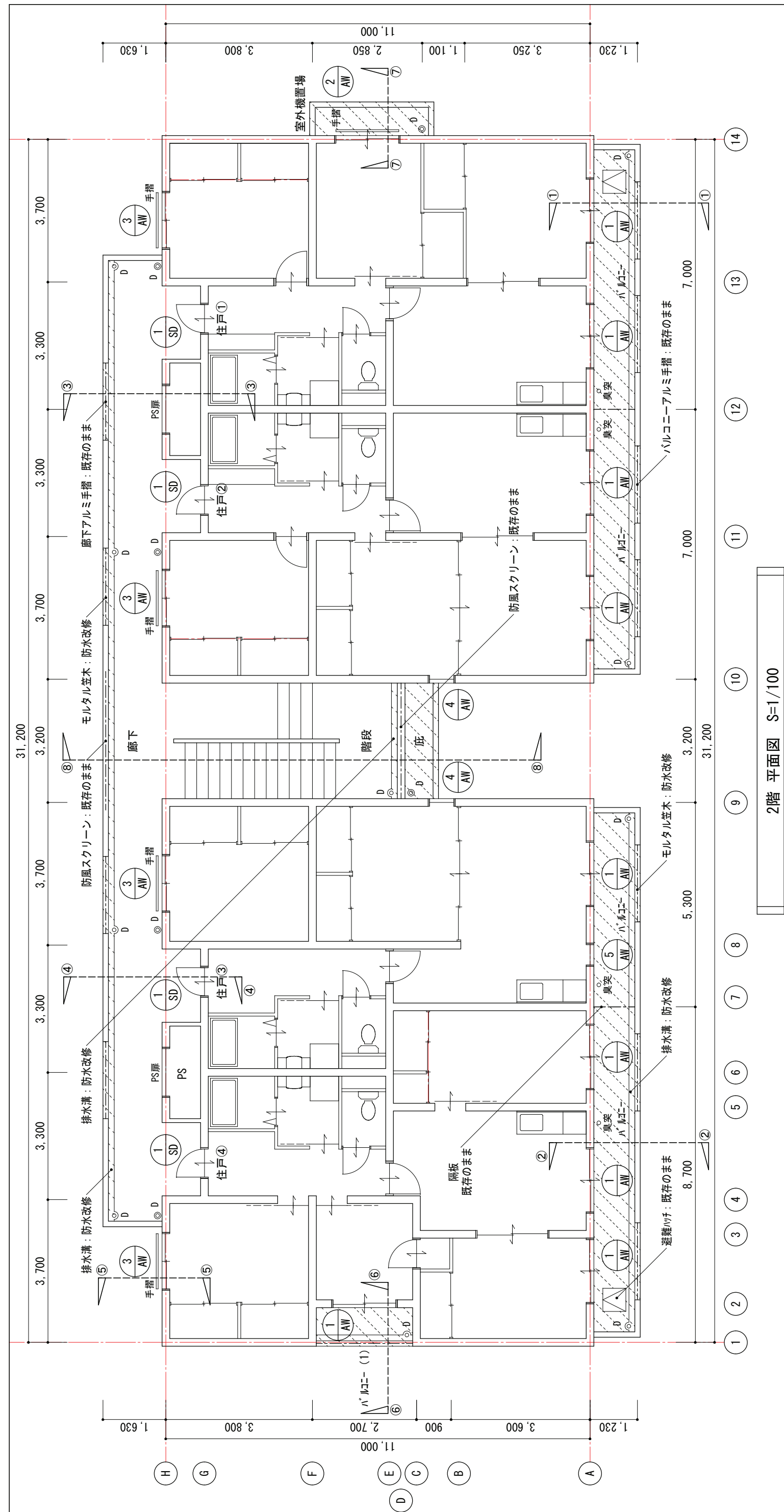
| 【住棟】                           |                                                                                                                                                                      |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                   |             |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------|
|                                | 【改修前】                                                                                                                                                                |                                                                                                       | 【改修後】                                                                                                                                                                                                          |                                                                                   |             |
| 屋根                             | ・日本瓦葺き（深切瓦）、瓦棧30*25（防腐剤塗り）、垂木40/45*40@450打込 → 既存のまま<br>・ルーフドレン（φ75） → 既存のまま<br>・広小舞（木部）露出部 → 塗装改修<br>・コンクリート金コテ押え下地の上ケミアスルーフ防水 → 防水改修<br>・TVアンテナ台：コンクリート金コテ押え → 防水改修 |                                                                                                       | ・日本瓦葺き（深切瓦） → 劣化調査に基づく<br>・ルーフドレン（φ75）：DP塗装（2級）<br>・広小舞（木部）露出部：下地調整の上木部保護塗装<br>・ケミアス防水面（平部、立上り）：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設<br>・TVアンテナ台：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設 ※アンテナ取外し・再取付（TVが工事中も視聴が可能なよう足場等に仮設置すること） |                                                                                   |             |
| 軒裏                             | ・コンクリート打放しの上モルタル金コテ仕上 → 既存のまま                                                                                                                                        |                                                                                                       | ・バルコニー、廊下部：劣化部補修、ケラバ部：高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修                                                                                                                                                                     |                                                                                   |             |
| 外壁                             | ・コンクリート打放し下地の上アクリルリシン吹付 → 外壁改修<br>・小屋裏換気ガラリ：アルミフード付丸型ガラリ（SUS製防虫網付） → 既存のまま                                                                                           |                                                                                                       | ・高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修＋防水形複層塗材RE（ローラー工法）新設<br>・周囲シール打替え（PU-2）                                                                                                                                                   |                                                                                   |             |
| 根廻り                            | ・モルタル塗り t-1.0 → 既存のまま                                                                                                                                                |                                                                                                       | ・高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修                                                                                                                                                                                          |                                                                                   |             |
| バルコニー<br>バルコニー（1）              | ・床、排水溝：防水モルタル塗り t-30金コテ仕上 → 防水改修<br>・巾木：コンクリート打放し → 既存のまま<br>・壁：コンクリート打放し下地の上アクリルリシン吹付 → 外壁改修<br>・軒裏：コンクリート打放しの上モルタル金コテ仕上 → 既存のまま                                    | ・軒裏（バルコニー（1））：ケイカル板 t-6.0の上アクリルリシン吹付 → 塗装改修<br>・アルミ製手摺 → 既存のまま<br>・物干し金物 → 既存のまま<br>・ドレン（φ50） → 既存のまま | ・床、排水溝：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設<br>・巾木：高圧水洗（5～10MPa）の上劣化部補修<br>・壁：高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修＋防水形複層塗材RE（ローラー工法）新設<br>・軒裏：劣化部補修                                                                                    | ・軒裏（バルコニー（1））：高圧洗浄（5～10MPa）の上防水形複層塗材RE（ローラー工法）新設<br>・ドレン（φ50）：DP塗装（2級）            |             |
| 廊下                             | ・排水溝：防水モルタル塗り t-30金コテ仕上 → 防水改修<br>・巾木：コンクリート打放し → 既存のまま<br>・手摺壁：コンクリート打放し下地の上アクリルリシン吹付 → 外壁改修                                                                        | ・壁、梁型：コンクリート打放し下地の上アクリルリシン吹付 → 外壁改修<br>・軒裏：コンクリート打放しの上モルタル金コテ仕上 → 既存のまま<br>・ドレン（φ50） → 既存のまま          | ・排水溝：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設<br>・巾木：高圧水洗（5～10MPa）の上劣化部補修<br>・手摺壁：高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修＋防水形複層塗材RE（ローラー工法）新設                                                                                                 | ・壁、梁型：高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修＋防水形複層塗材RE（ローラー工法）新設<br>・軒裏：劣化部補修<br>・ドレン（φ50）：DP塗装（2級） |             |
| P S                            | ・床：（1F）コンクリート金コテ押え、（2、3F）モルタル金コテ押え → 既存のまま<br>・壁：コンクリート打放しの上モルタル金コテ押え → 既存のまま<br>・梁型：コンクリート打放しの上アクリルリシン吹付 → 既存のまま                                                    | ・天井：コンクリート打放しの上モルタル金コテ仕上 → 既存のまま<br>・PS扉 → 既存のまま                                                      |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                   |             |
| 階段室                            | ・床、排水溝、段床：防水モルタル塗り t-30金コテ仕上 → 既存のまま<br>・段鼻タイル：既存のまま<br>・巾木：コンクリート打放しの上モルタル金コテ仕上 → 既存のまま<br>・腰、手摺壁：コンクリート打放しの上VP塗装 → 外壁改修                                            | ・天井：コンクリート打放しの上モルタル金コテ仕上 → 既存のまま<br>・ドレン（φ50） → 既存のまま                                                 | ・排水溝：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設<br><br>・壁、手摺壁：高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修＋防水形複層塗材RE（ローラー工法※トップのみ）新設                                                                                                                 | ・天井：劣化部補修<br>・ドレン（φ50）：DP塗装（2級）                                                   |             |
| 庇                              | ・コンクリート金コテ押え下地の上ケミアスルーフ防水 → 防水改修<br>・軒裏：コンクリート打放しの上モルタル金コテ仕上 → 既存のまま                                                                                                 | ・日本瓦葺（3F） → 既存のまま<br>・広小舞（木部）露出部（3F） → 塗装改修<br>・ドレン（φ50） → 既存のまま                                      | ・ケミアス防水面（平部、立上り）：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設<br>・軒裏：高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修                                                                                                                                      | ・日本瓦葺（3F） → 劣化調査に基づく<br>・広小舞（木部）露出部：下地調整の上木部保護塗装<br>・ドレン（φ50）：DP塗装（2級）            |             |
| 室外機置場                          | ・コンクリート金コテ押え下地の上ケミアスルーフ防水 → 防水改修<br>・軒裏：コンクリート打放しの上モルタル金コテ仕上 → 既存のまま<br>・ドレン（φ50） → 既存のまま                                                                            | ・ケミアス防水面（平部、立上り）：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設<br>・軒裏：高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修<br>・ドレン（φ50）：DP塗装（2級）       |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                   |             |
| 【付属棟】                          |                                                                                                                                                                      |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                   |             |
| 屋根                             | ・リトリン塗コンクリート金コテ仕上 → 防水改修                                                                                                                                             |                                                                                                       | ・高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設                                                                                                                                                                                  |                                                                                   |             |
| 軒裏                             | ・コンクリート打放し仕上 → 既存のまま                                                                                                                                                 |                                                                                                       | ・高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修                                                                                                                                                                                          |                                                                                   |             |
| 外壁                             | ・コンクリート打放し下地の上アクリルリシン吹付 → 外壁改修                                                                                                                                       |                                                                                                       | ・高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修＋防水形複層塗材RE（ローラー工法）新設                                                                                                                                                                      |                                                                                   |             |
| 根廻り                            | ・コンクリート打放し → 既存のまま                                                                                                                                                   |                                                                                                       | ・高圧洗浄（5～10MPa）の上劣化部補修                                                                                                                                                                                          |                                                                                   |             |
| 特記事項（記載なき限り）                   |                                                                                                                                                                      |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                   |             |
| ・高圧洗浄は既存塗膜非除去の範囲で水圧調整を行うものとする。 |                                                                                                                                                                      |                                                                                                       | A-05                                                                                                                                                                                                           | 県営住宅上井団地 3 棟外壁改修工事                                                                |             |
| ・住棟窓手摺は外壁改修に伴い、取外し・再取付する。      |                                                                                                                                                                      |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                | 外部仕上表                                                                             |             |
| ・住棟堅樋、支持金物は既存のままとする。           |                                                                                                                                                                      |                                                                                                       | 株式会社e-MOMENT                                                                                                                                                                                                   |                                                                                   |             |
|                                |                                                                                                                                                                      |                                                                                                       | 管理建築士 1級建築士登録第354253号<br>山田 大生                                                                                                                                                                                 |                                                                                   | A2 NON      |
|                                |                                                                                                                                                                      |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |                                                                                   | A3 総小率70.7% |

鳥取県

令和6年度  
J2400441

中部環境建築局



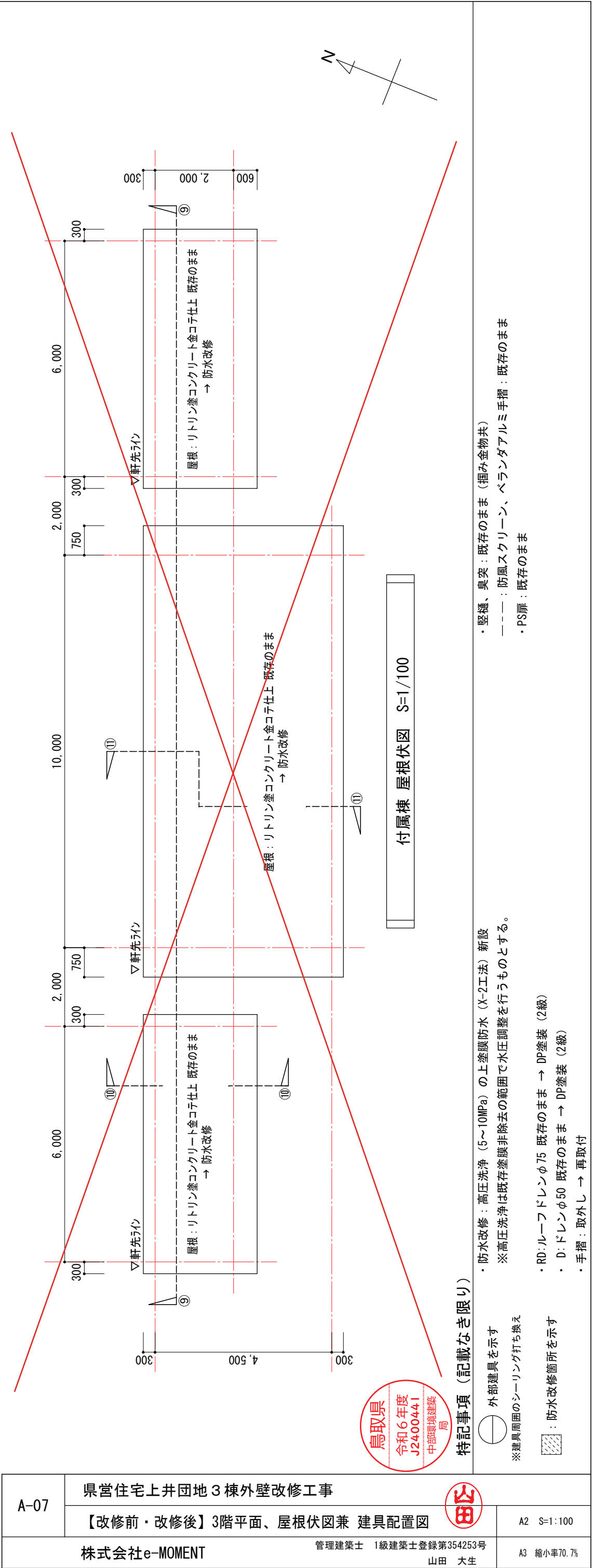
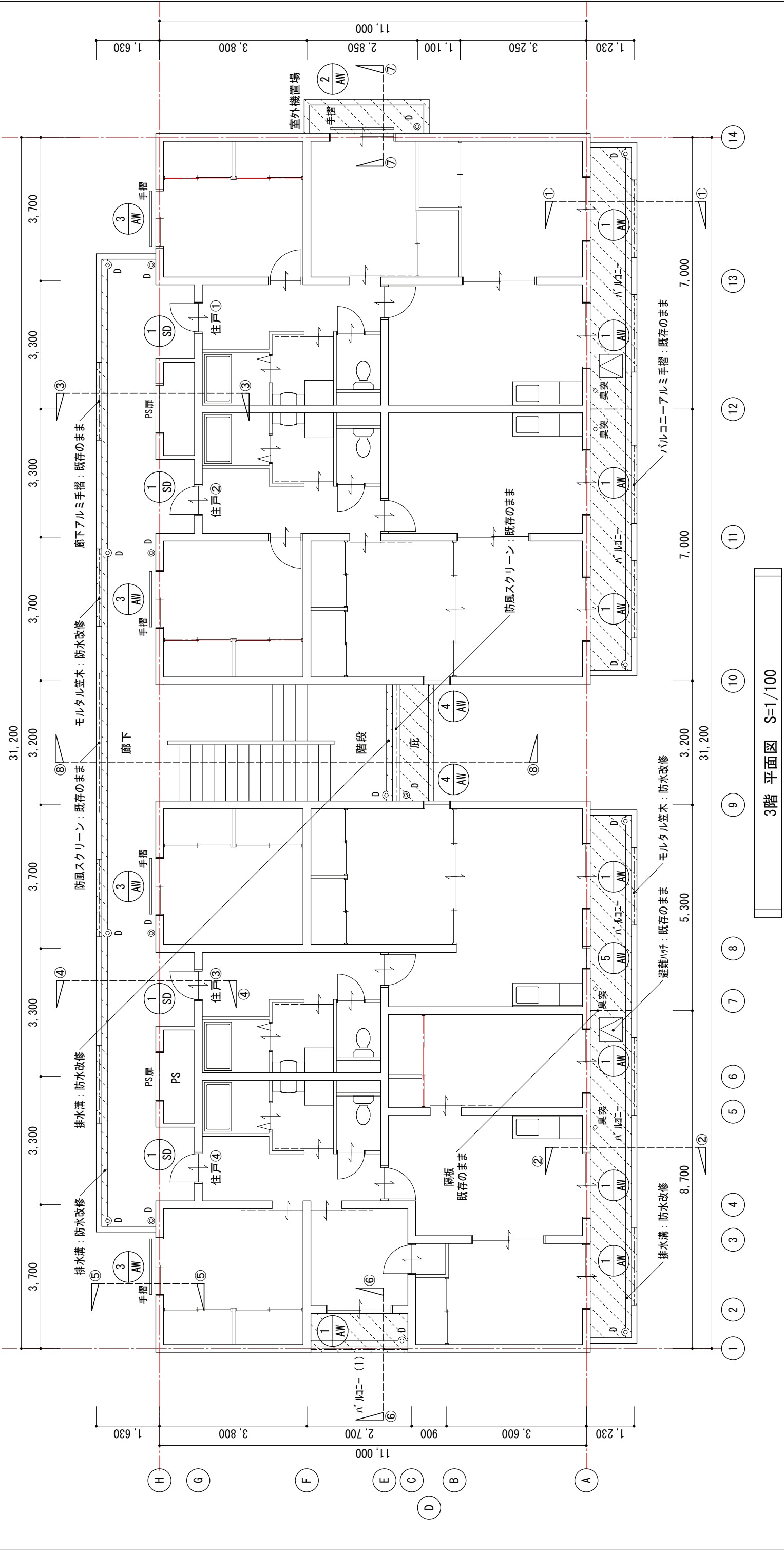
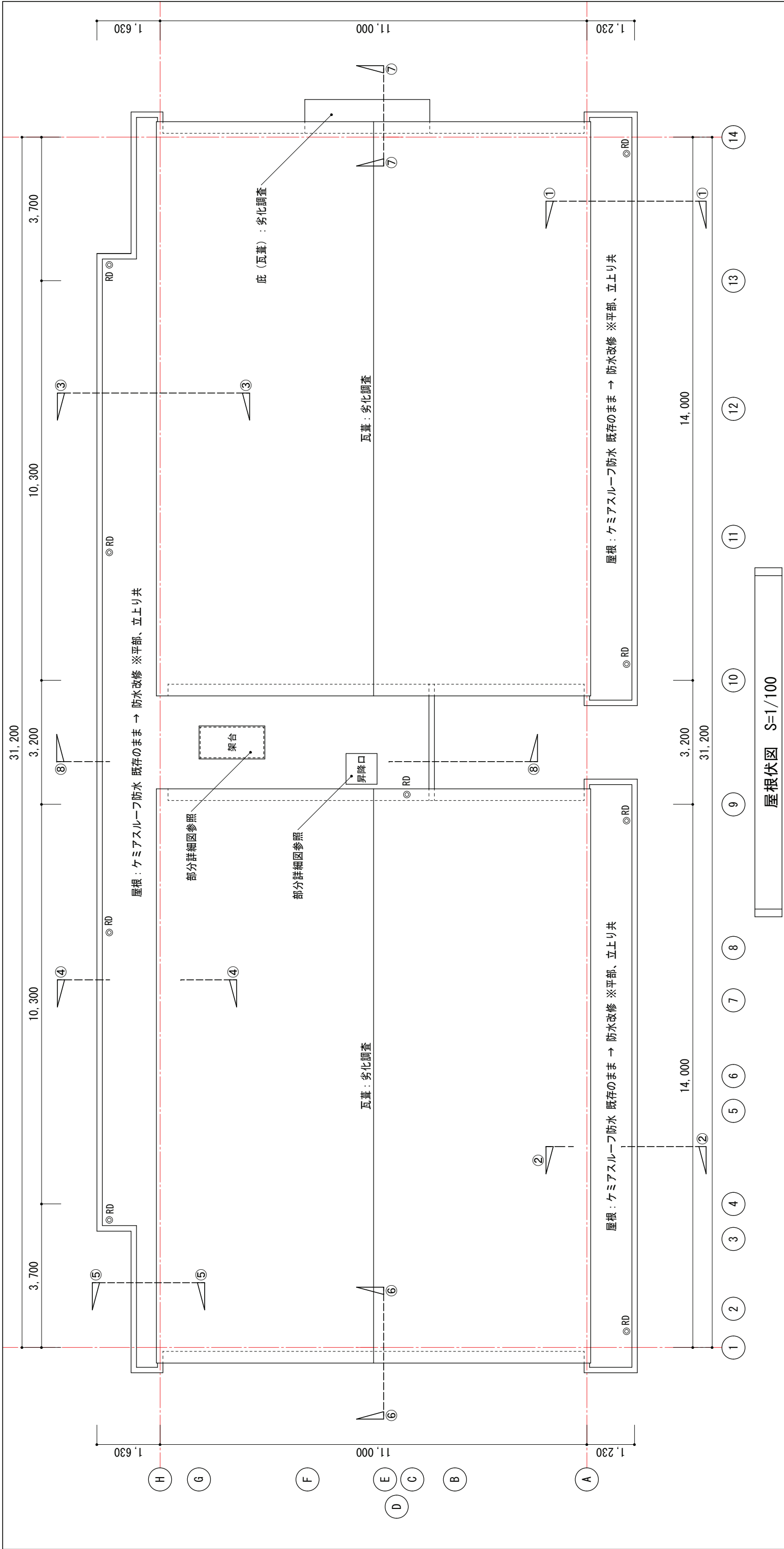


特記事項 (記載なき限り)

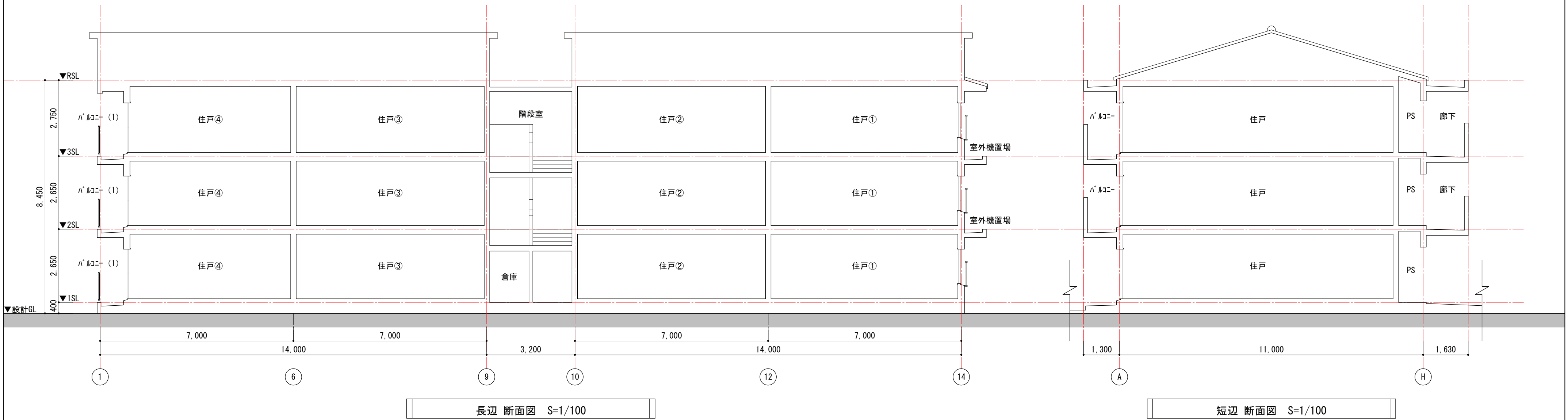
・防水改修：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）新設  
※高圧洗浄は既存塗膜非除去の範囲で水圧調整を行うものとする。

- ・堅樋、臭突：既存のまま（掴み金物共）
- ――：防風スクリーン、ベランダアルミ手摺：既存のまま
- ・PS扉：既存のまま

- ・RD:ルーフレンφ75 既存のまま → DP塗装 (2級)
- ・D:ドレンφ50 既存のまま → DP塗装 (2級)
- ・手摺:取外し → 再取付

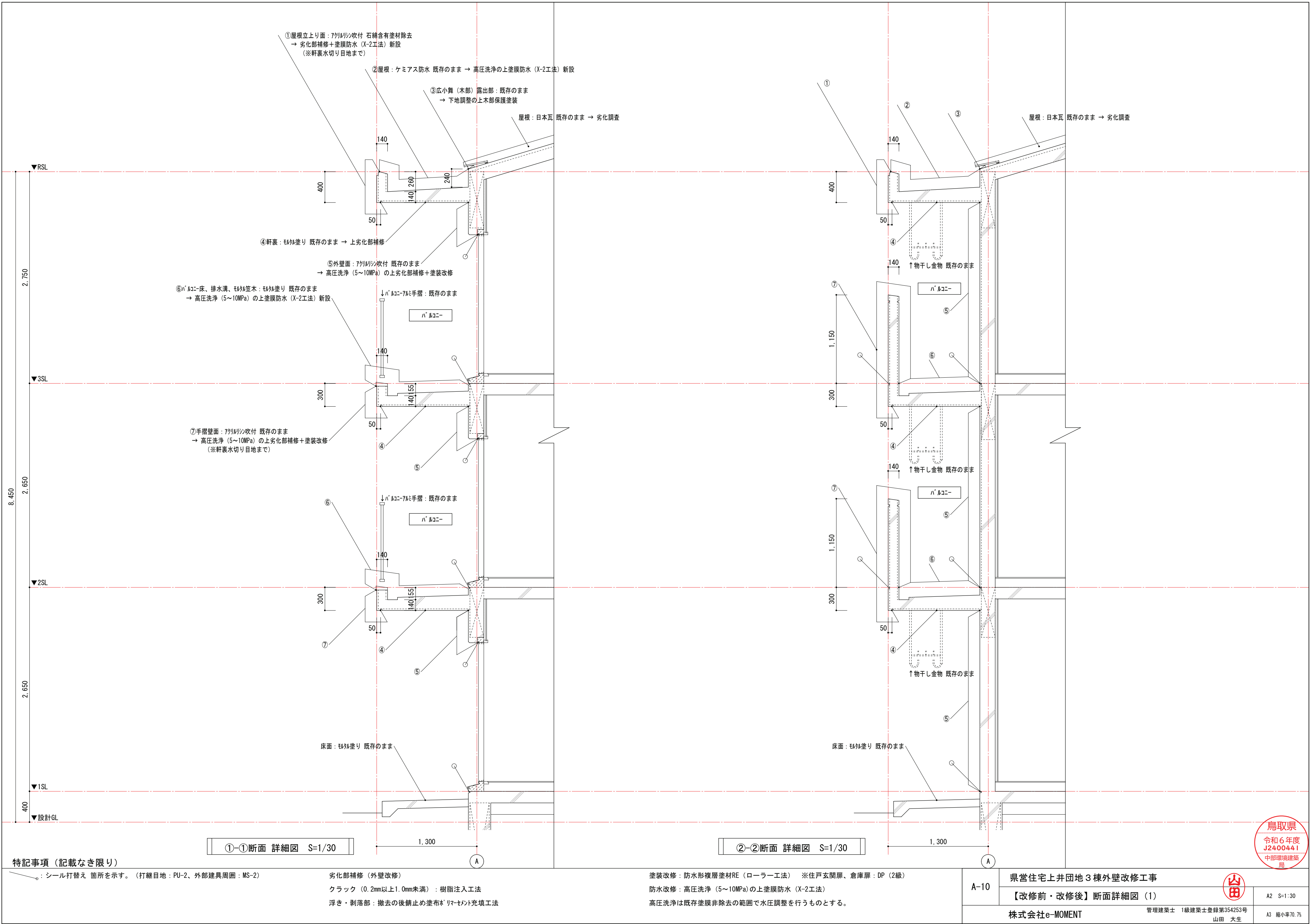






鳥取県  
令和6年度  
J2400441  
中部環境建築  
局

|              |                  |                                                                                       |             |
|--------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| A-09         | 県営住宅上井団地3棟外壁改修工事 |  | A2 S=1:100  |
|              | 断面図（参考図）         |                                                                                       |             |
| 株式会社e-MOMENT |                  | 管理建築士 1級建築士登録第354253号<br>山田 大生                                                        | A3 縮小率70.7% |



特記事項（記載なき限り）

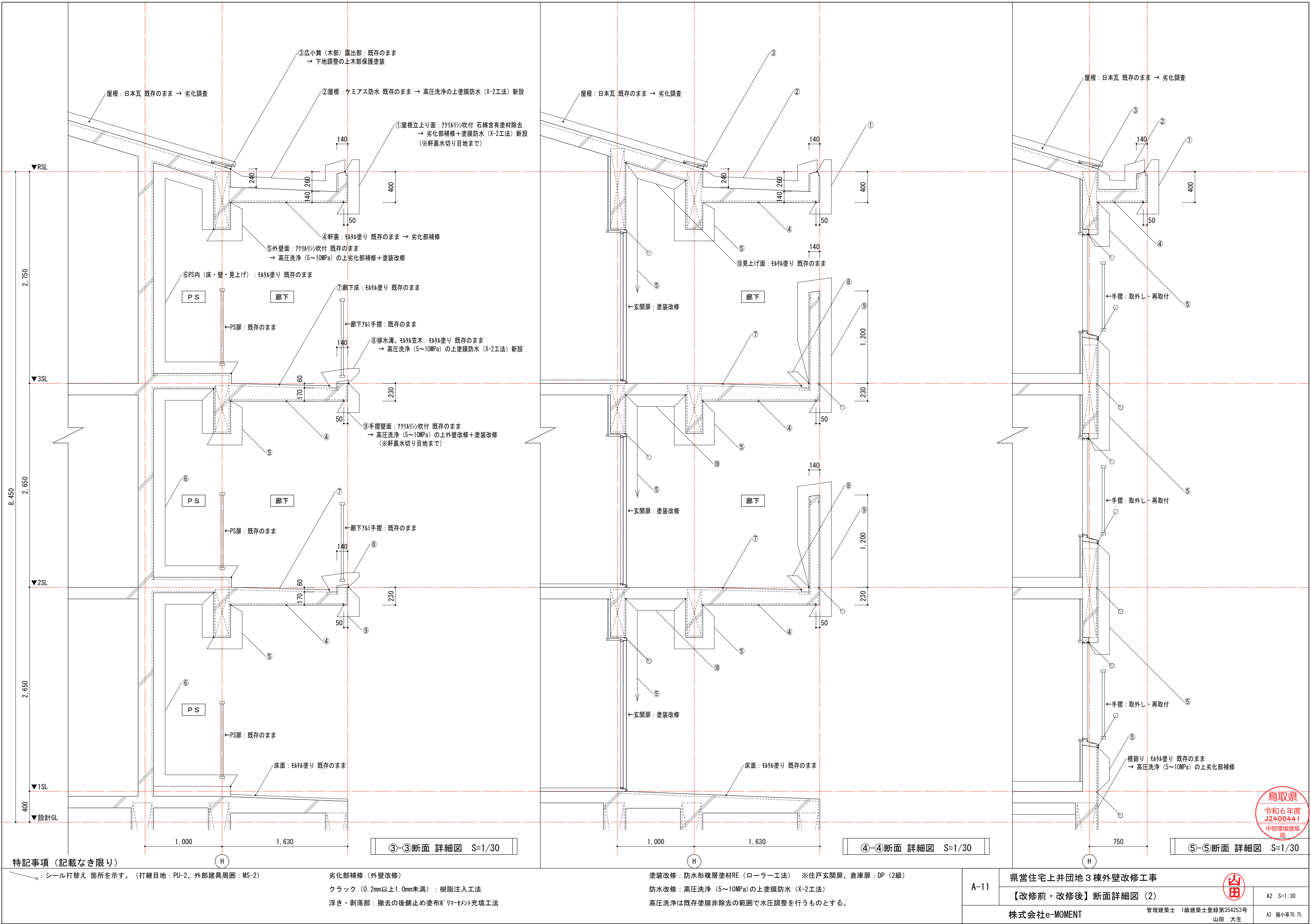
○：シール打替え 箇所を示す。（打継目地：PU-2、外部建具周囲：MS-2）

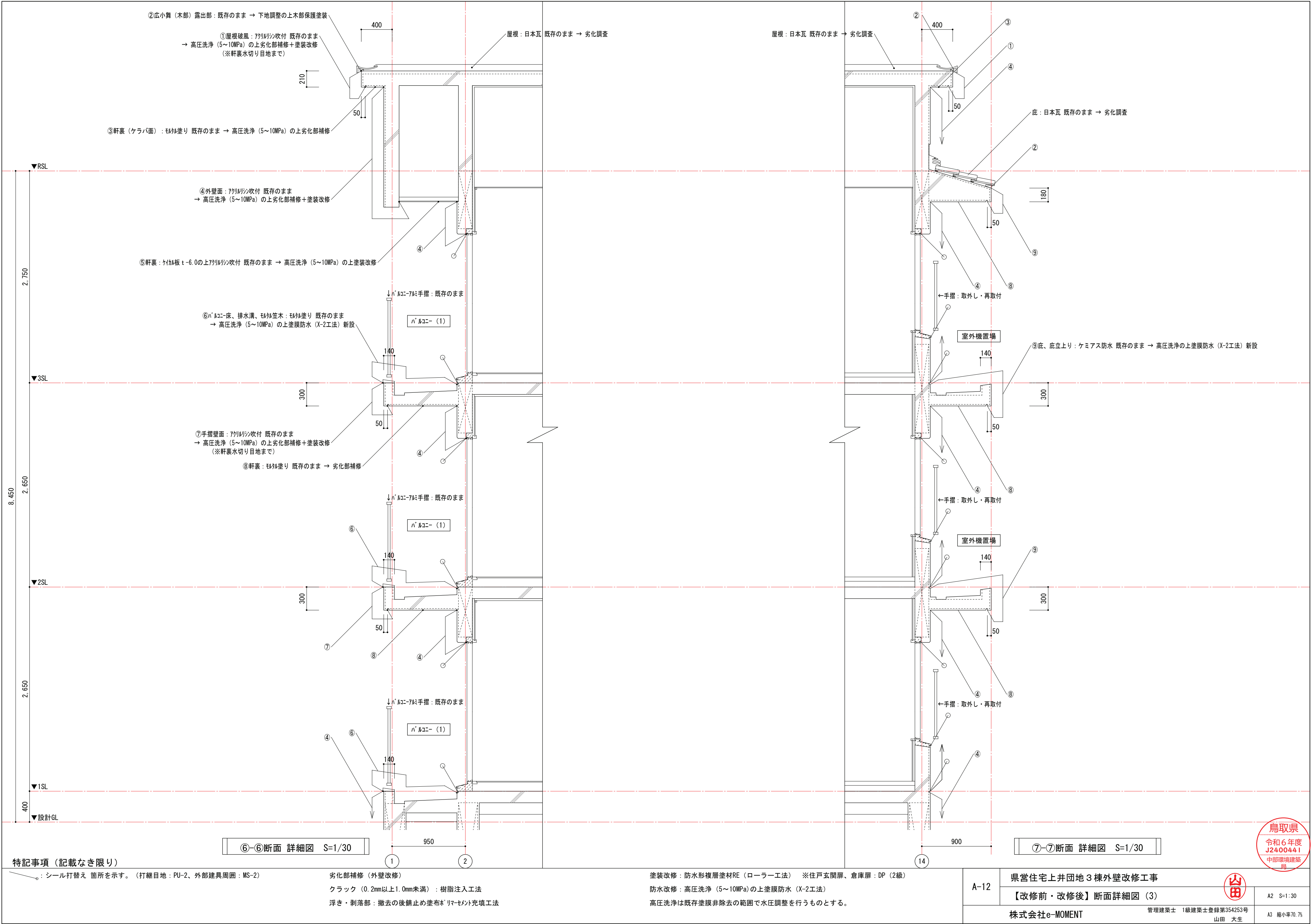
劣化部補修（外壁改修）  
クラック（0.2mm以上1.0mm未満）：樹脂注入工法  
浮き・剥落部：撤去の後錆止め塗布+リマーメント充填工法

塗装改修：防水形複層塗材RE（ローラー工法） ※住戸玄関扉、倉庫扉：DP（2級）  
防水改修：高圧洗浄（5～10MPa）の上塗膜防水（X-2工法）  
高圧洗浄は既存塗膜非除去の範囲で水圧調整を行うものとする。

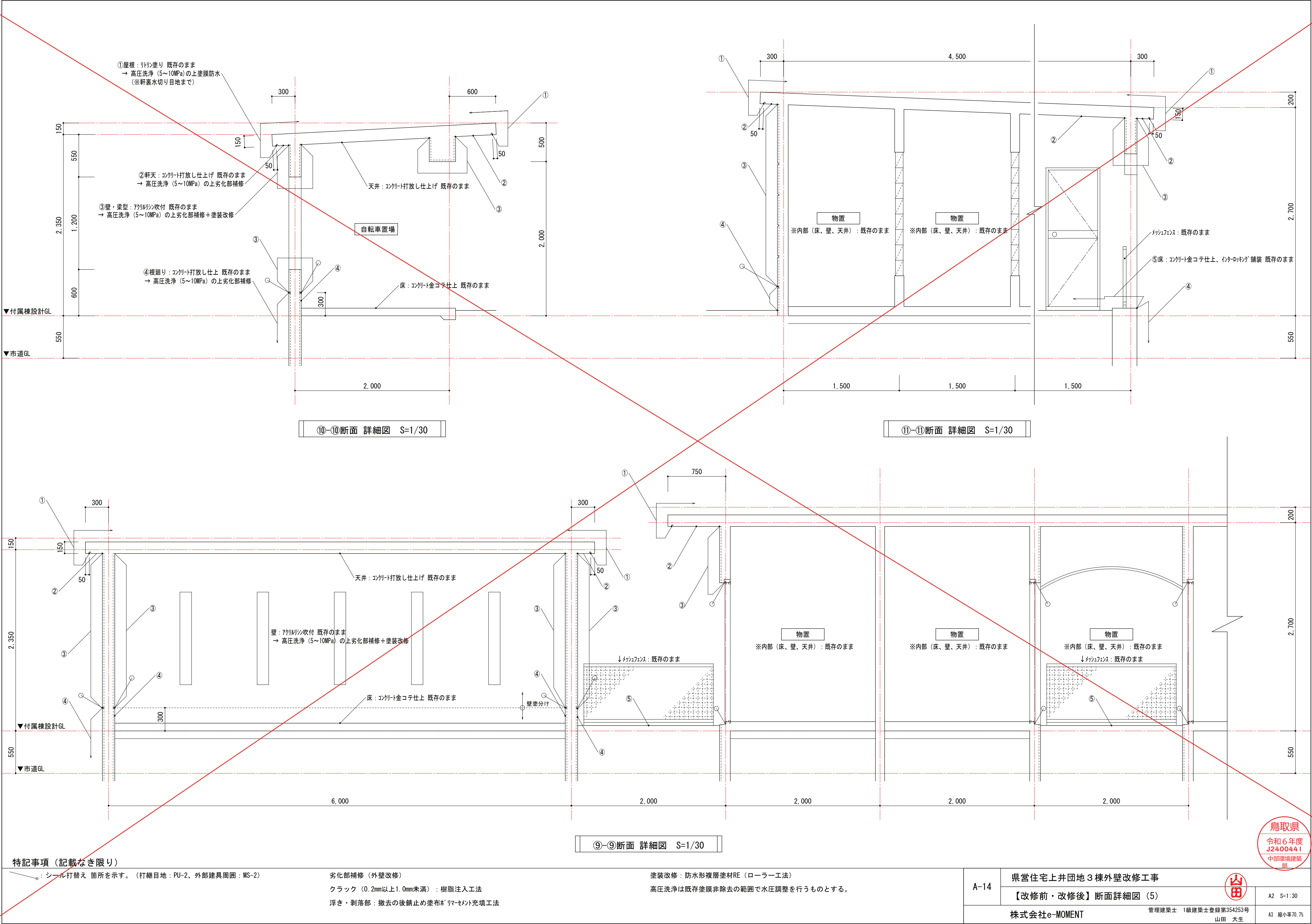
|                                |                    |             |                                                                                       |           |
|--------------------------------|--------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| A-10                           | 県営住宅上井団地 3 棟外壁改修工事 |             |  | A2 S=1:30 |
|                                | 【改修前・改修後】断面詳細図 (1) |             |                                                                                       |           |
|                                | 株式会社e-MOMENT       |             |                                                                                       |           |
| 管理建築士 1級建築士登録第354253号<br>山田 大生 |                    | A3 縮小率70.7% |                                                                                       |           |











特記事項（記載なき限り）

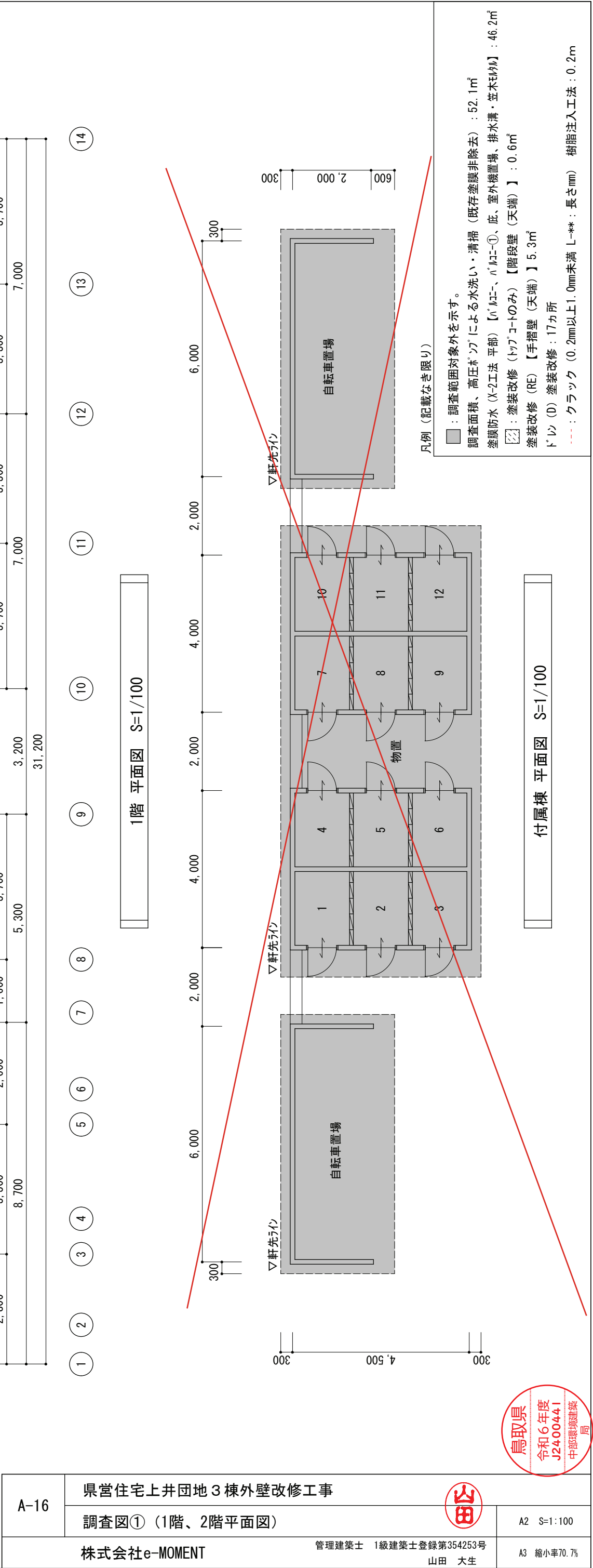
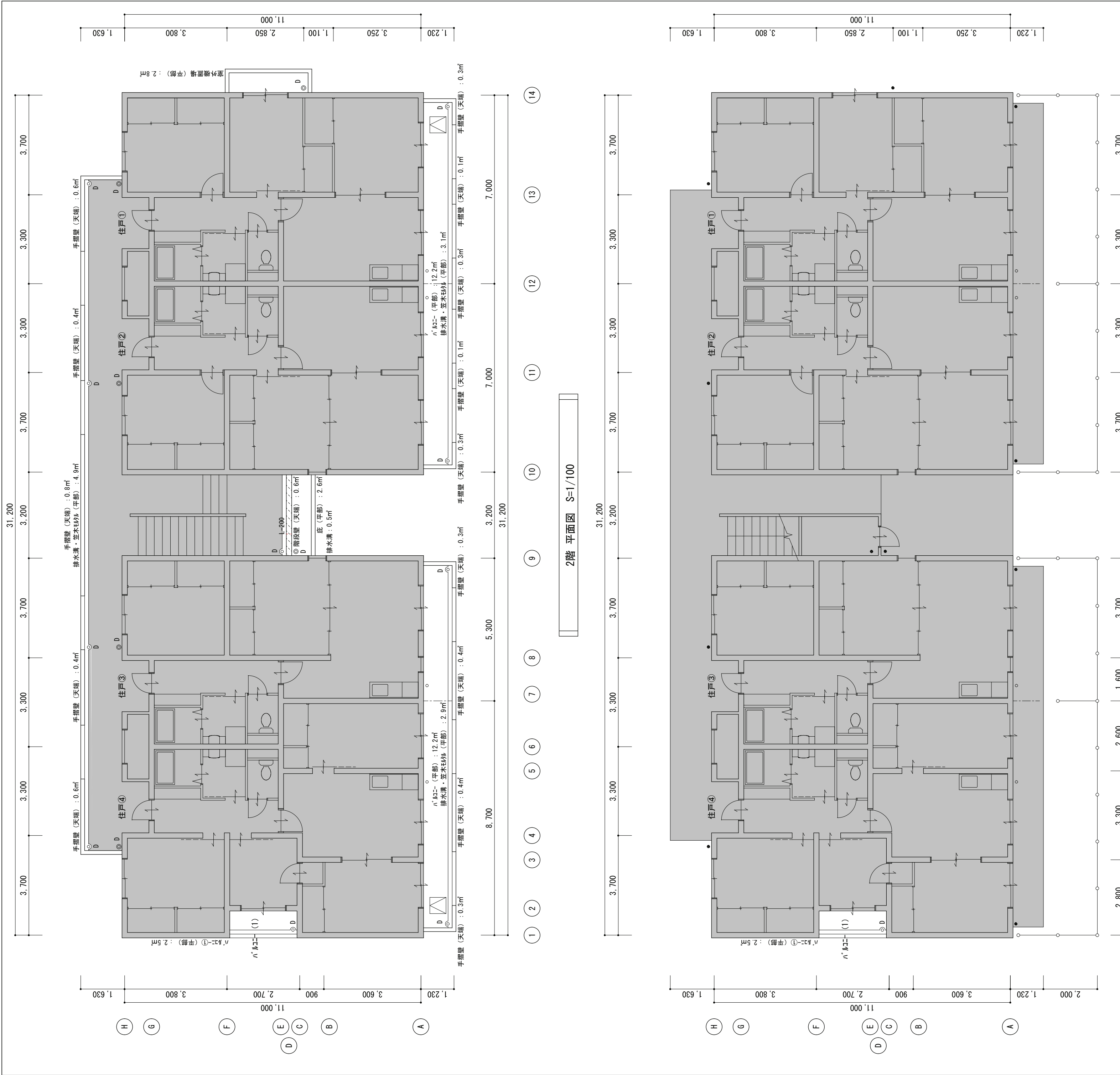
○：シーリング打替え箇所を示す。（打継目地：PU-2、外部建具周囲：MS-2）

劣化部補修（外壁改修）  
クラック（0.2mm以上1.0mm未満）：樹脂注入工法  
浮き・剥落部：撤去の後錆止め塗布後リペアメント充填工法

塗装改修：防水形複層塗材RE（ローラー工法）  
高圧洗浄は既存塗膜非除去の範囲で水圧調整を行うものとする。

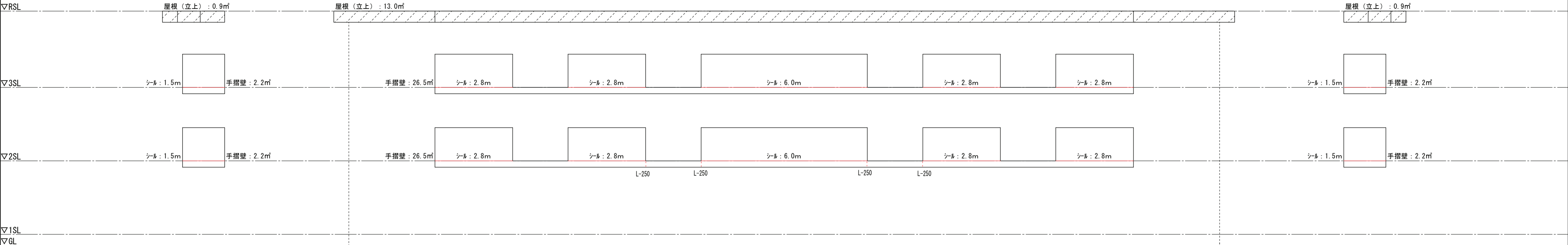
|              |                    |                                |                                                                                       |           |
|--------------|--------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| A-14         | 県営住宅上井団地 3 棟外壁改修工事 |                                |  | A2 S=1:30 |
|              | 【改修前・改修後】断面詳細図 (5) |                                |                                                                                       |           |
| 株式会社e-MOMENT |                    | 管理建築士 1級建築士登録第354253号<br>山田 大生 | A3 縮小率70.7%                                                                           |           |



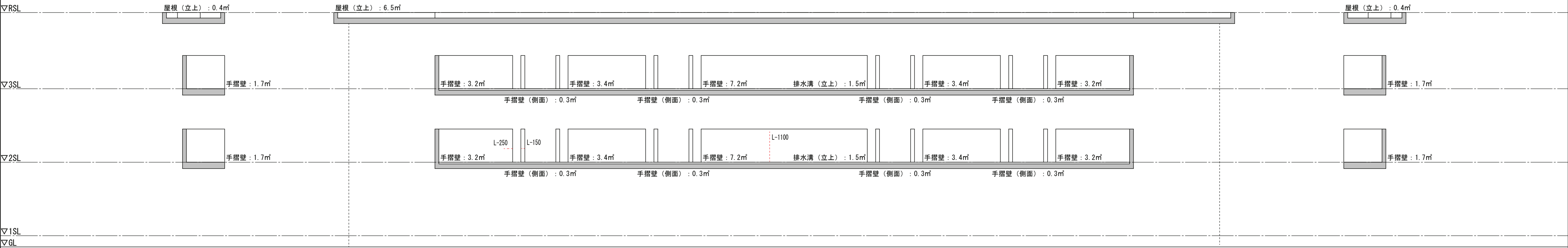


|              |                  |                             |             |
|--------------|------------------|-----------------------------|-------------|
| A-16         | 県営住宅上井団地3棟外壁改修工事 |                             | A2 S=1:100  |
|              | 調査図① (1階、2階平面図)  |                             | A3 縮小率70.7% |
| 株式会社e-MOMENT |                  | 管理建築士 1級建築士登録第354253号 山田 大生 |             |





正面側 調査図 S=1/100



廊下側 調査図 S=1/100

凡例（記載なき限り）

■：調査範囲対象外を示す。

調査面積、高圧ホップによる水洗い・清掃（既存塗膜非除去）：136.9㎡

塗膜防水（X-2工法 立上）【屋根（立上）、排水溝（立上）】：25.1㎡

☒：石綿含有塗材塗膜除去【屋根（立上）※正面側のみ】：14.8㎡

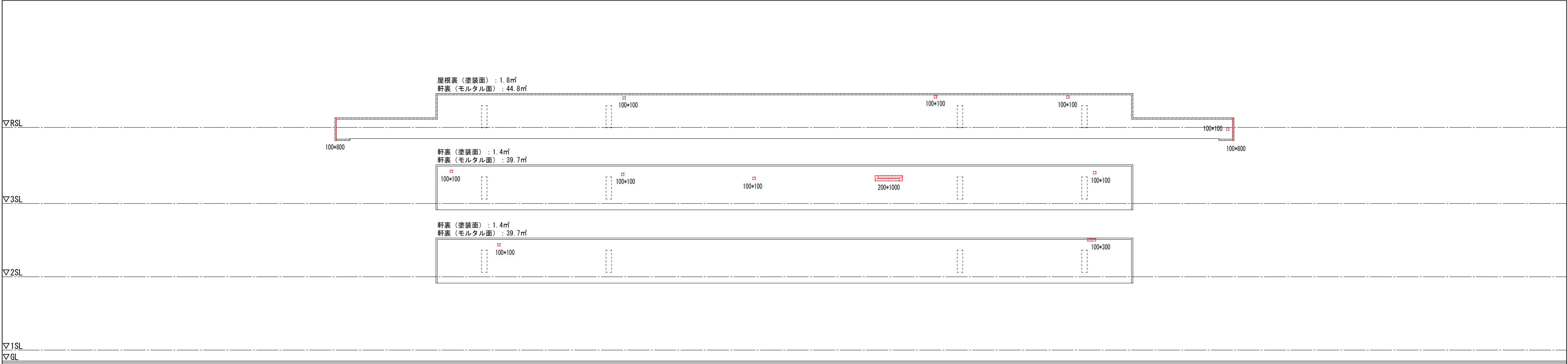
塗装改修（RE）【手摺壁】：111.8㎡

---：クラック（0.2mm以上1.0mm未満 L-\*\*：長さmm）樹脂注入工法：2.5m

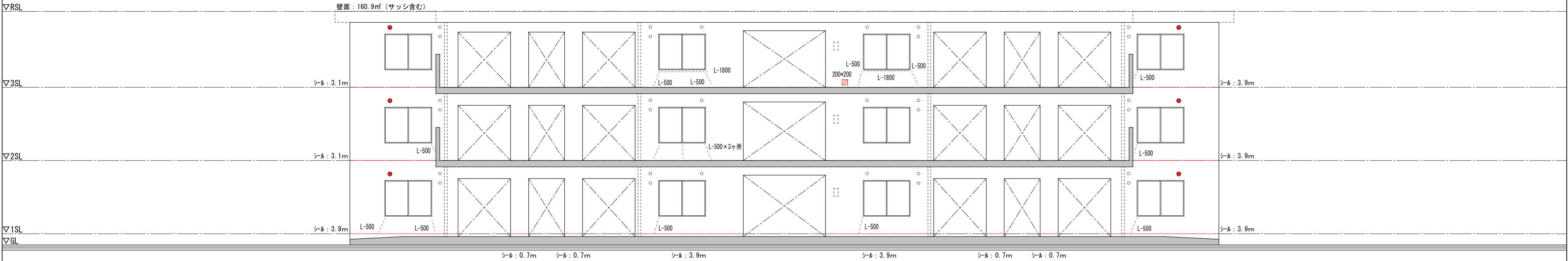
—：シーリング打替え 15×10程度（PU-2）：40.4m

|              |                  |                                |             |
|--------------|------------------|--------------------------------|-------------|
| A-18         | 県営住宅上井団地3棟外壁改修工事 |                                | A2 S=1:100  |
|              | 調査図③（北側面（1））     |                                |             |
| 株式会社e-MOMENT |                  | 管理建築士 1級建築士登録第354253号<br>山田 大生 | A3 縮小事70.7% |

鳥取県  
令和6年度  
J2400441  
中部環境建築局



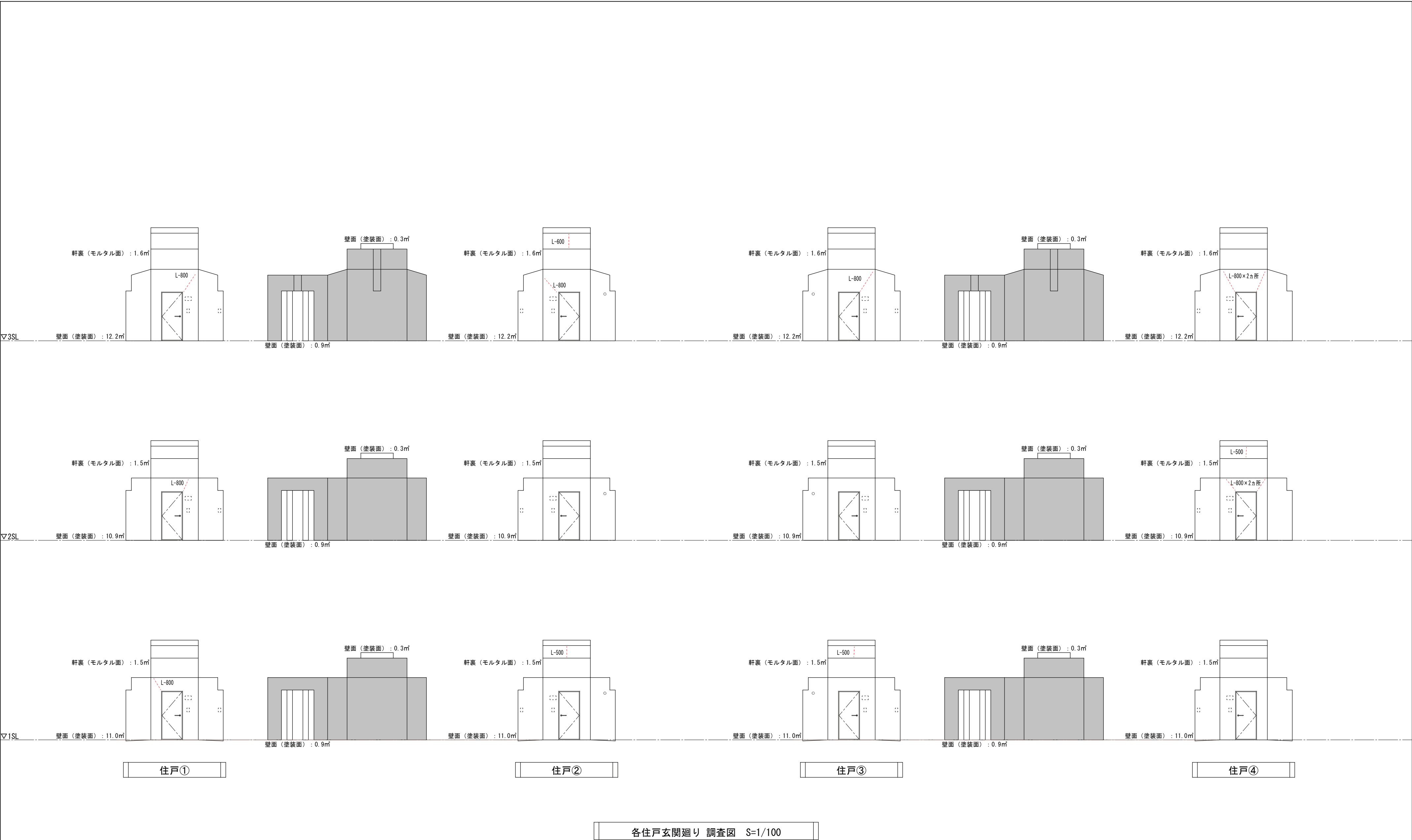
見上面 調査図 S=1/100



正面側 調査図 S=1/100

凡例（記載なき限り）

- ：調査範囲対象外を示す。
- ：設備機器類、照明器具、堅樋（支持金物共）、給気口・帽子類 → 既存のまま
- ：石綿含有塗材塗膜除去【屋根裏（塗装面）】：1.8㎡
- 調査面積：289.7㎡
- 高圧洗浄による水洗い・清掃（既存塗膜非除去）：165.5㎡
- 塗膜防水（X-2工法 立上）【屋根裏（塗装面）】：1.8㎡
- 塗装改修（RE）【壁面、軒裏（塗装面）】：163.7㎡
- 既存のまま【軒裏（モルタル面）】：124.2㎡
- ：フドカバーφ200程度 周囲シール打替え（PU-2）：6ヵ所
- ：クラック（0.2mm以上1.0mm未満 L-\*\*：長さmm） 樹脂注入工法：11.1m
- ：シール打替え 15×10程度（PU-2）：30.8m
- ：浮き・剥落部（mm×mm） → t-10程度 撤去の後錆止め塗布・リマセメント充填工法 0.52㎡（みなし石綿含有建材（レベル3））



各住戸玄関廻り 調査図 S=1/100

凡例（記載なき限り）

■：調査範囲対象外を示す。

□：表札、ドアノブ類、給気口キャップ類 → 既存のまま

調査面積：162.0㎡

高圧洗浄による水洗い・清掃（既存塗膜非除去）：143.6㎡

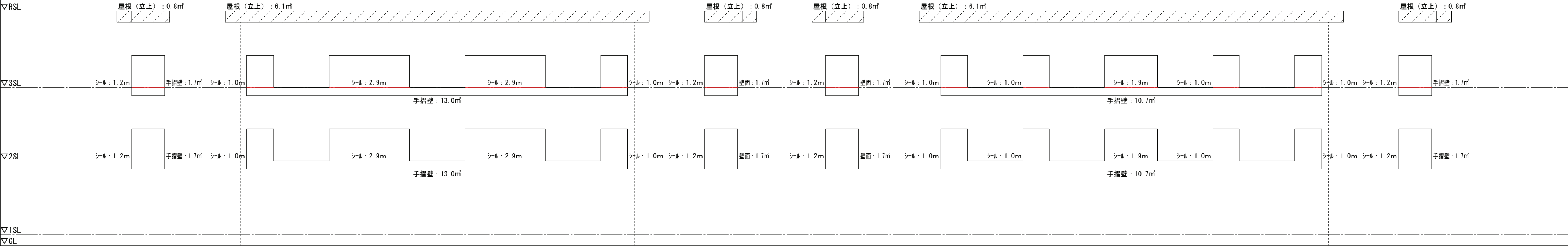
塗装改修（RE）【壁面（塗装面）】：143.6㎡

既存のまま【軒裏（モルタル面）】：18.4㎡

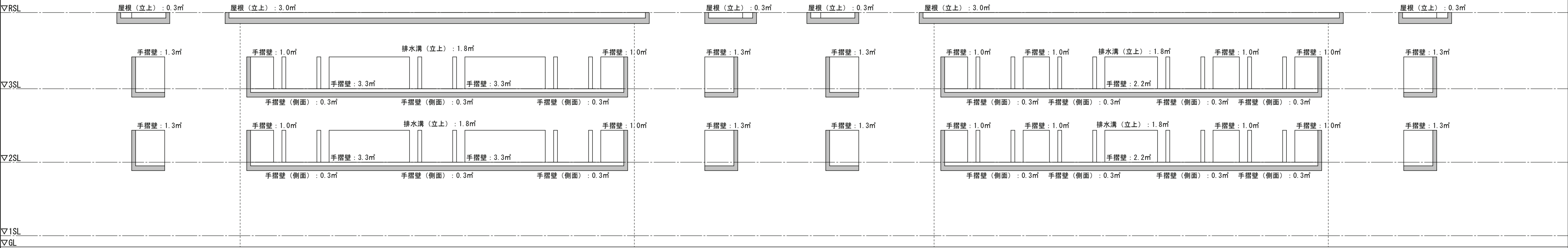
---：クラック（0.2mm以上1.0mm未満 L-\*\*：長さmm） 樹脂注入工法：9.3m

|              |                  |                                |             |
|--------------|------------------|--------------------------------|-------------|
| A-20         | 県営住宅上井団地3棟外壁改修工事 |                                | A2 S=1:100  |
|              | 調査図⑤（北側面（3））     |                                |             |
| 株式会社e-MOMENT |                  | 管理建築士 1級建築士登録第354253号<br>山田 大生 | A3 縮小率70.7% |

鳥取県  
令和6年度  
J2400441  
中部環境建築局



正面側 調査図 S=1/100



バルコニー側 調査図 S=1/100

凡例（記載なき限り）

■：調査範囲対象外を示す。

調査面積、高圧ホップによる水洗い・清掃（既存塗膜非除去）：135.0㎡

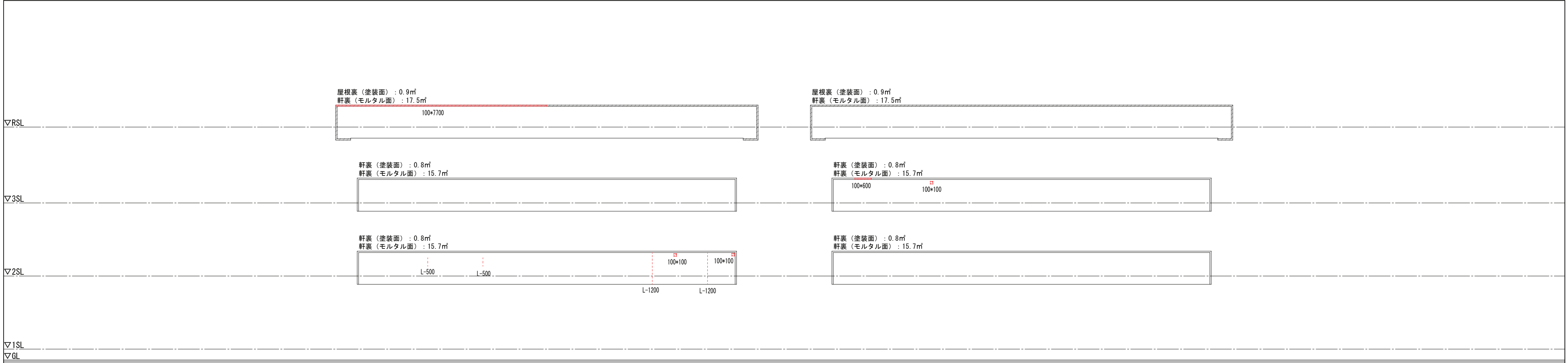
塗膜防水（X-2工法 立上）【屋根（立上）、排水溝（立上）】：29.8㎡

■：石綿含有塗材塗膜除去【屋根（立上）※正面側のみ】：15.4㎡

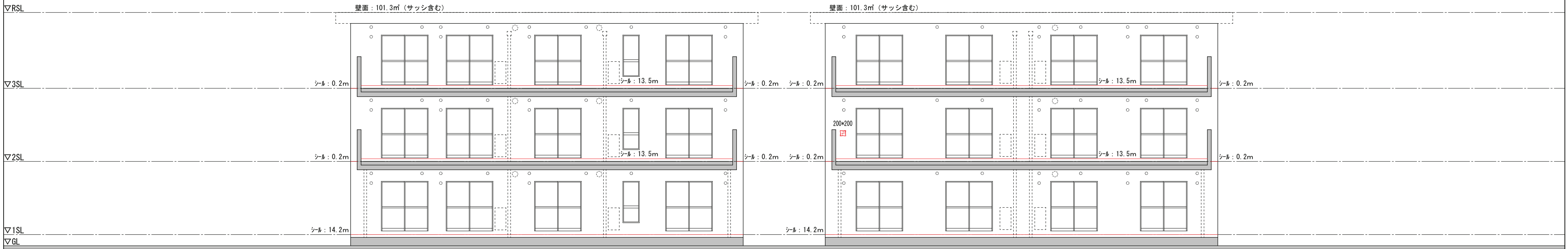
塗装改修（RE）【手摺壁】：105.2㎡

---：クラック（0.2mm以上1.0mm未満 L-\*\*：長さmm）樹脂注入工法：---m

—：シーリング打替え 15×10程度（PU-2）：37.0m

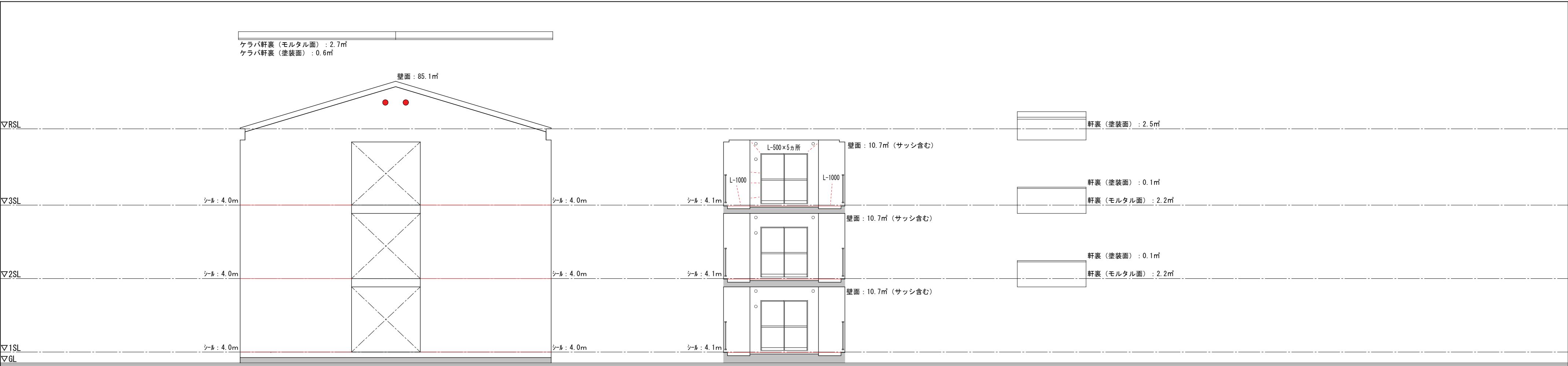


見上面 調査図 S=1/100

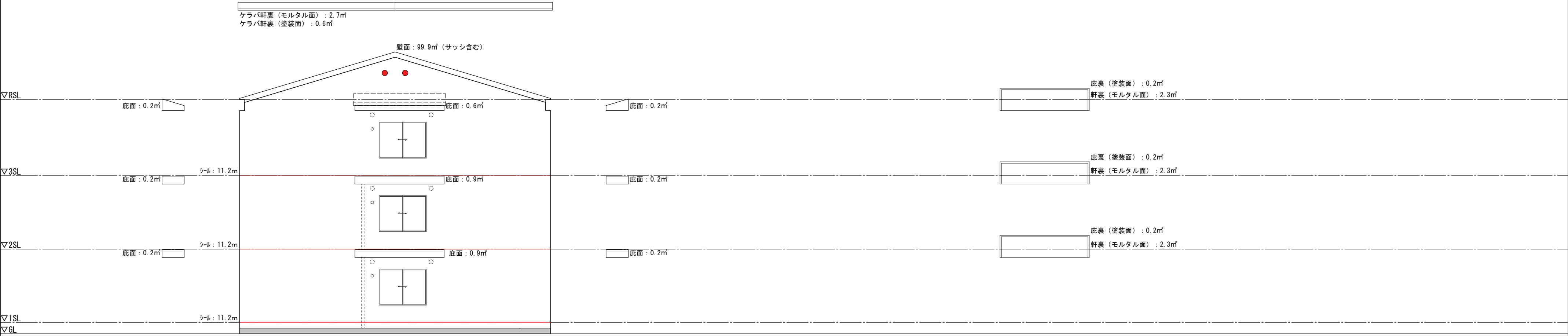


正面側 調査図 S=1/100

- 凡例 (記載なき限り)
- : 調査範囲対象外を示す。
  - : 設備機器類、照明器具、堅樋 (支持金物共)、給気口キャップ 類 → 既存のまま
  - ▨ : 石綿含有塗材塗膜除去【屋根裏 (塗装面)】 : 1.8㎡
- 調査面積 : 305.4㎡
- 高圧ホップによる水洗い・清掃 (既存塗膜非除去) : 207.6㎡
- 塗膜防水 (X-2工法 立上) 【屋根裏 (塗装面)】 : 1.8㎡
- 塗装改修 (RE) 【壁面、軒裏 (塗装面)】 : 205.8㎡
- 既存のまま【軒裏 (モルタル面)】 : 97.8㎡
- : クラック (0.2mm以上1.0mm未満 L-\*\* : 長さmm) 樹脂注入工法 : 3.4m
- : シール打替え 15×10程度 (PU-2) : 84.0m
- ▨ : 浮き・剥落部 (mm×mm) → t-10程度 撤去の後錆止め塗布+リペアメント充填工法 0.9㎡ (みなし石綿含有建材 (レベル3))



西面側 調査図 S=1/100



東面側 調査図 S=1/100

凡例 (記載なき限り)

■ : 調査範囲対象外を示す。

□ : 設備機器類、照明器具、樋樋 (支持金物共)、給気口キャップ類 → 既存のまま

調査面積、高圧ホースによる水洗い・清掃 (既存塗膜非除去) : 241.9㎡

塗膜防水 (X-2工法 立上) 【底面、底裏 (塗装面)】 : 4.2㎡

塗装改修 (RE) 【壁面、ケラバ軒裏 (塗装面)、軒裏 (塗装面)】 : 221.0㎡

既存のまま【ケラバ軒裏 (モルタル面)、軒裏 (モルタル面)】 : 16.7㎡

● : フードカバーφ200程度 周囲シール打替え (PU-2) : 4カ所

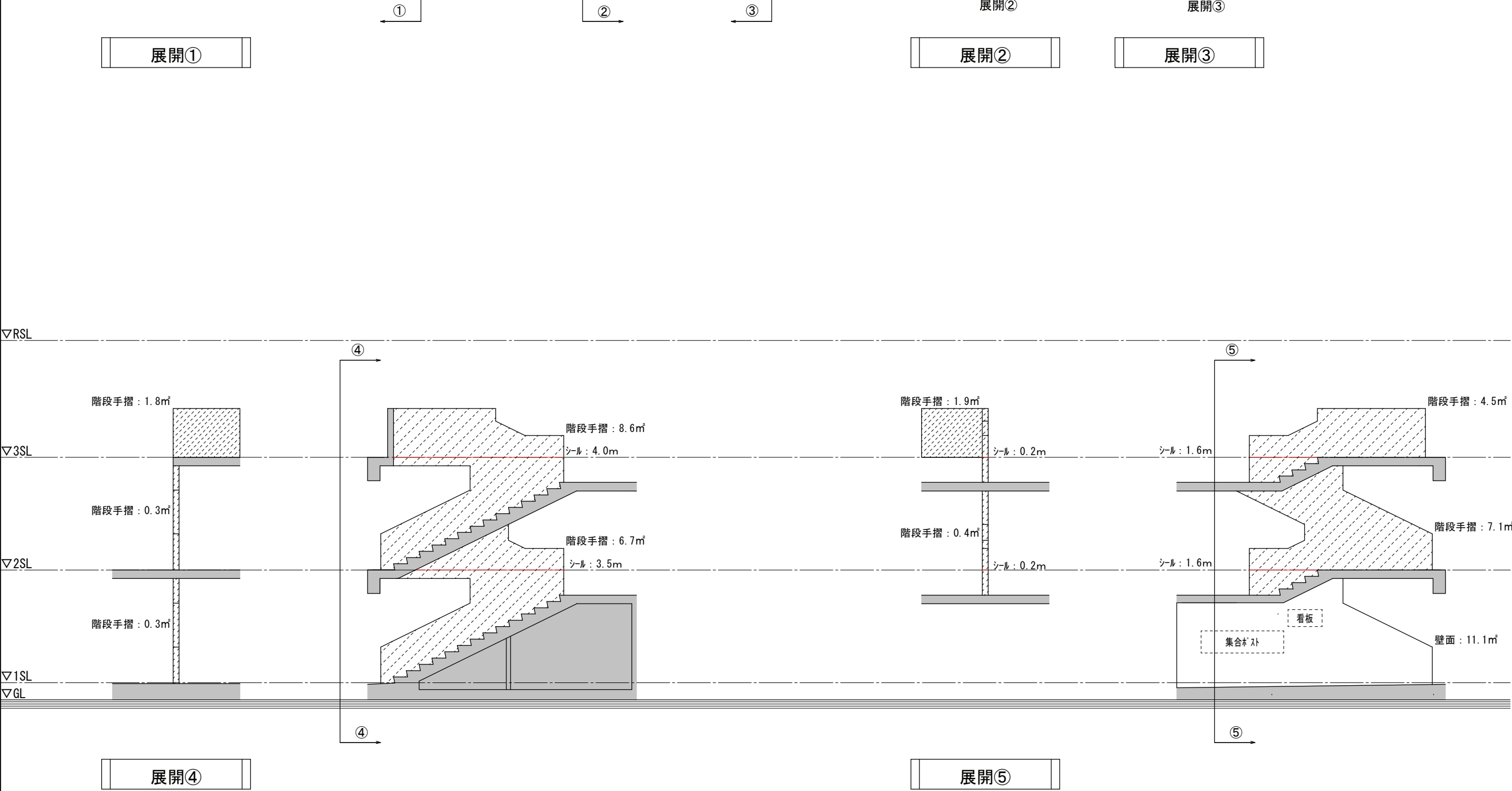
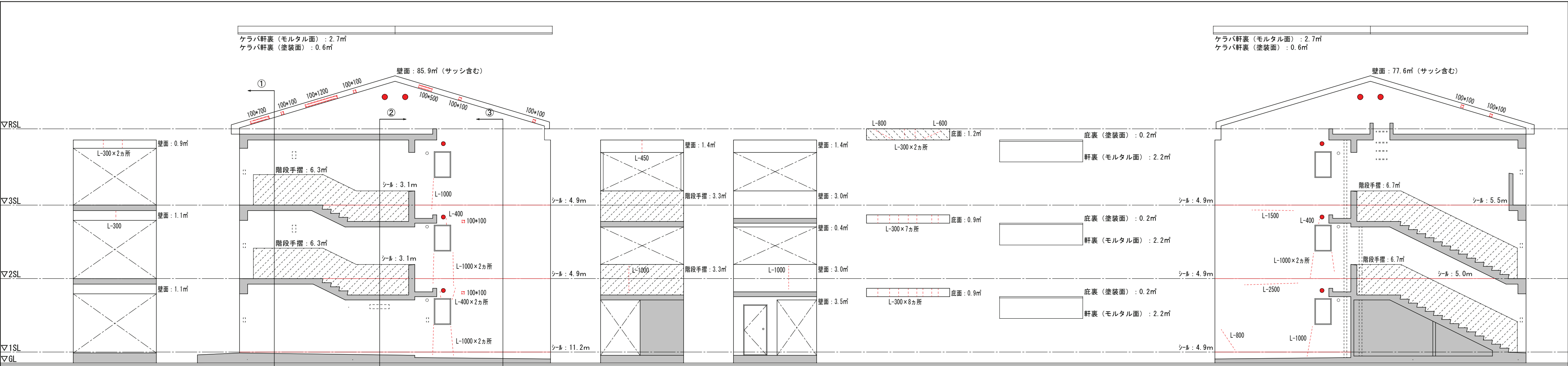
--- : クラック (0.2mm以上1.0mm未満 L-\*:長さmm) 樹脂注入工法 : 4.5m

— : シール打替え 15×10程度 (PU-2) : 69.9m

■ : 浮き・剥落部 (mm×mm) → t-10程度 撤去の後錆止め塗布+リペアメント充填工法 (みなし石綿含有建材 (レベル3))

|              |                  |                                                                                       |             |
|--------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| A-23         | 県営住宅上井団地3棟外壁改修工事 |  | A2 S=1:100  |
|              | 調査図⑧ (東側面、西側面)   |                                                                                       |             |
| 株式会社e-MOMENT |                  | 管理建築士 1級建築士登録第354253号<br>山田 大生                                                        | A3 縮小事70.7% |





3SL 見上げ

見上面 (塗装面) : 0.9㎡

2SL～3SL 見上げ

見上面 (塗装面) : 0.9㎡

1SL～2SL 見上げ

見上面 (塗装面) : 0.9㎡

凡例 (記載なき限り)

■ : 調査範囲対象外を示す。

□ : 設備機器類、照明器具、壁樋 (支持金物共)、給気口等類、集合ポスト、看板類 → 既存のまま

調査面積 : 323.1㎡

高圧洗浄による水洗い・清掃 (既存塗膜非除去) : 274.8㎡

塗膜防水 (X-2工法 立上) 【底面、庇裏 (塗装面)】 : 3.6㎡

塗装改修 (RE) 【壁面、ケラバ軒裏 (塗装面)、見上面 (塗装面)】 : 195.0㎡

塗装改修 (トップコートのみ) 【階段手摺】 : 64.2㎡

既存のまま【ケラバ軒裏 (モルタル面)、軒裏 (モルタル面)、見上面 (モルタル面)】 : 60.3㎡

石綿含有塗材塗膜除去【底面※展開③RSL部のみ】 : 1.2㎡

● : フードカバーφ200程度 周囲シール打替え (PU-2) : 10カ所

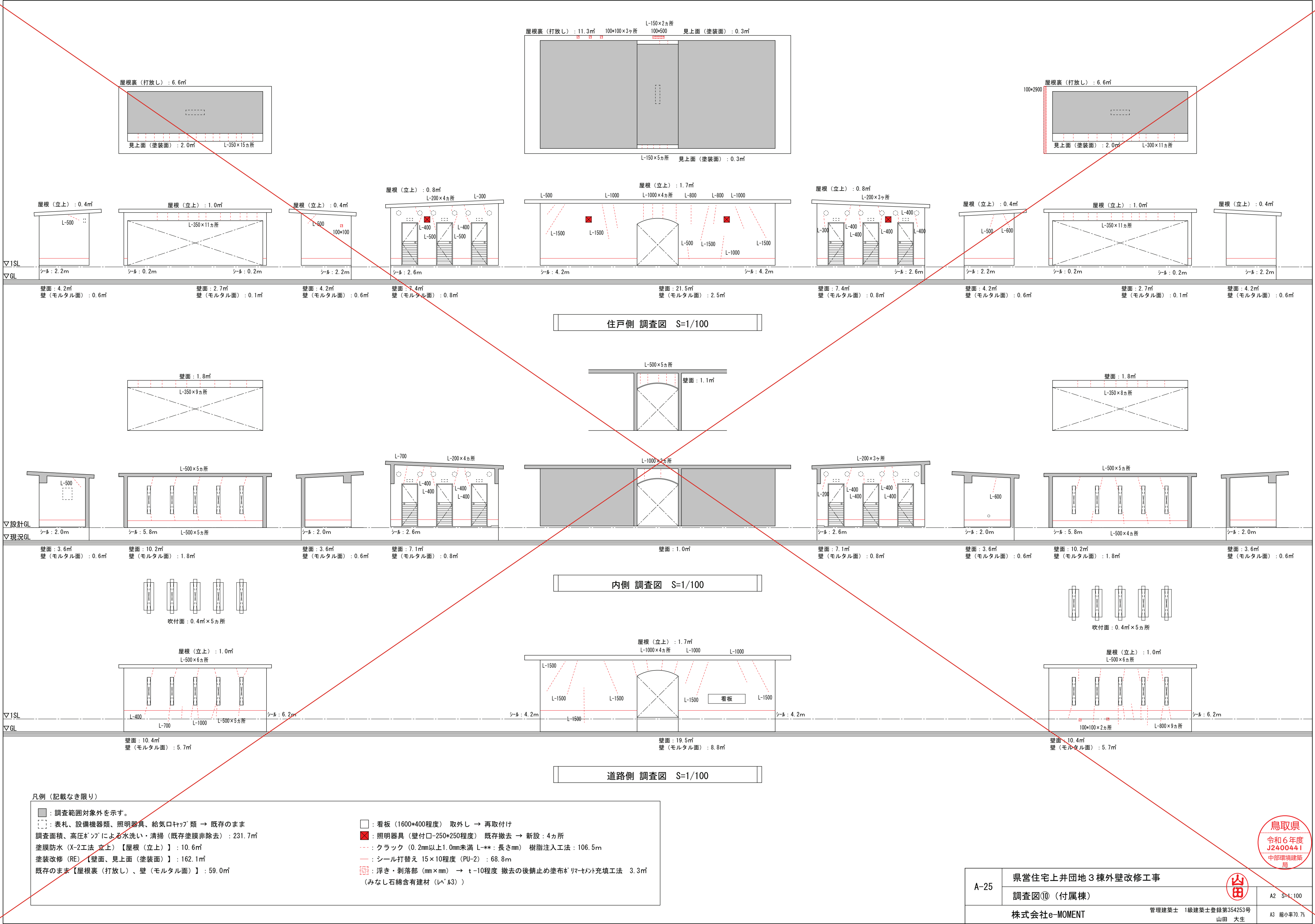
--- : クラック (0.2mm以上1.0mm未満 L-\*\* : 長さmm) 樹脂注入工法 : 24.3m

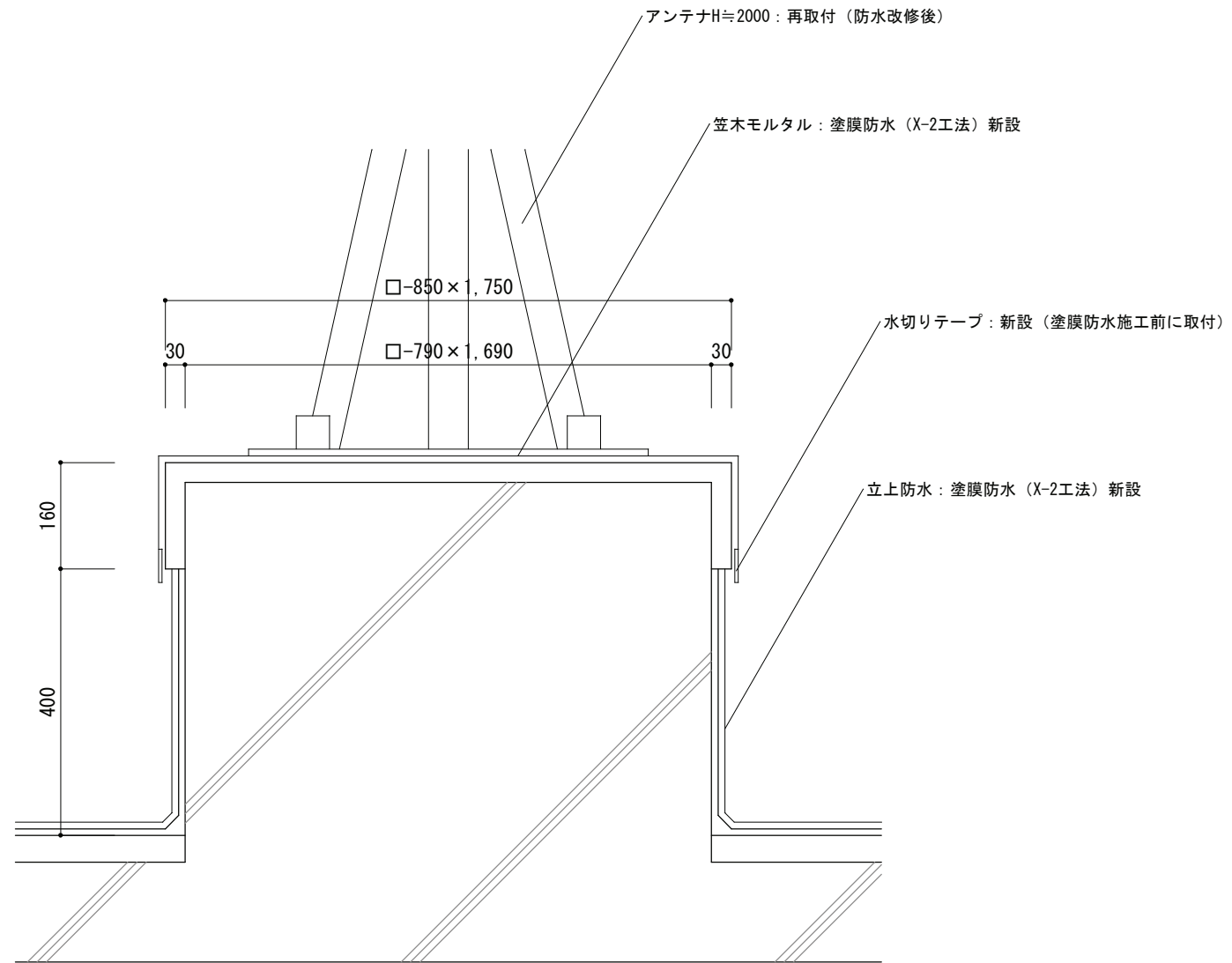
— : シール打替え 15×10程度 (PU-2) : 63.5m

■ : 浮き・剥落部 (mm×mm) → t-10程度 撤去の後錆止め塗布・リマセメント充填工法 1.4㎡ (みなし石綿含有建材 (レール3))

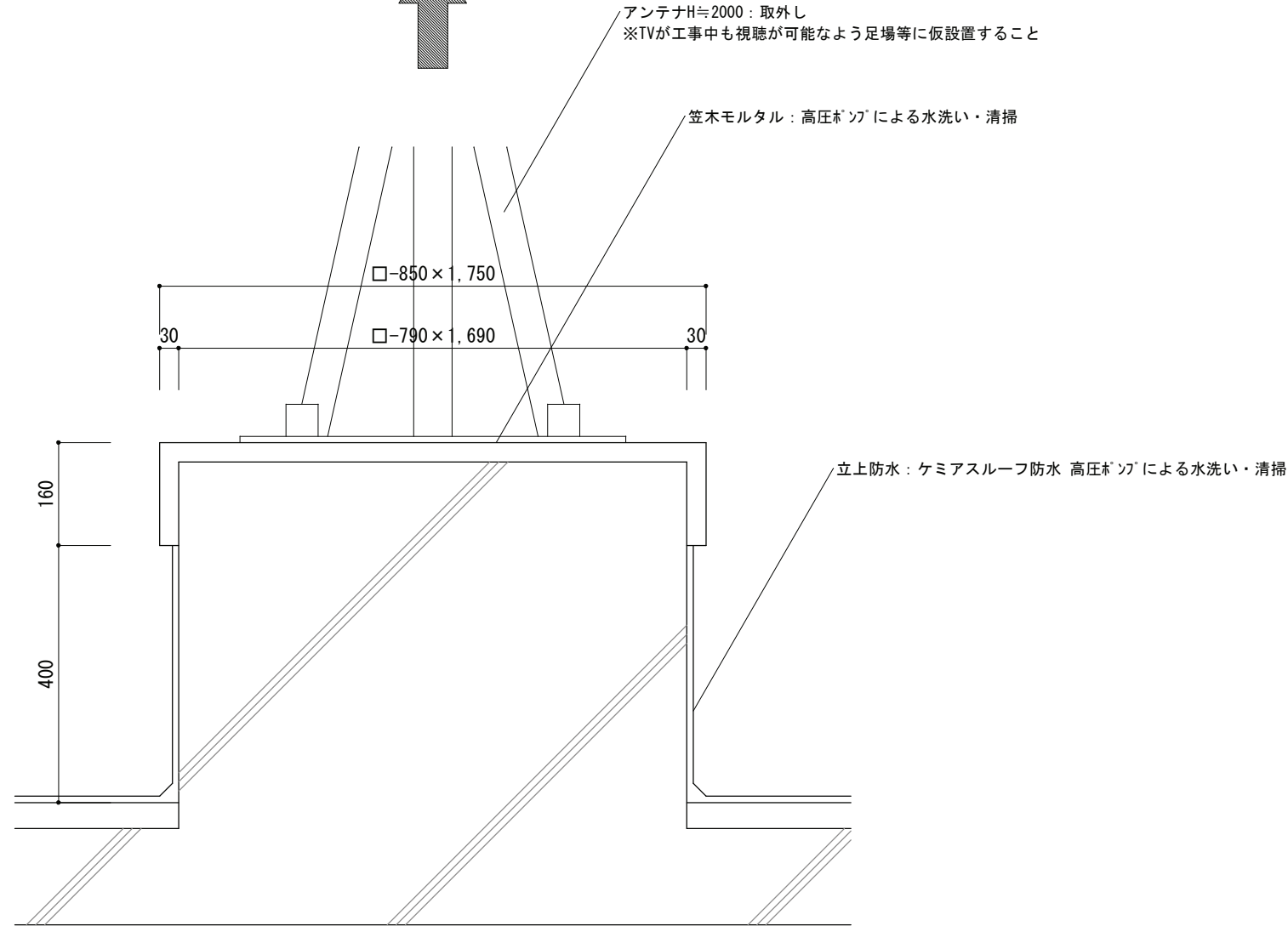
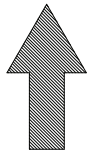
|              |                  |                                                                                       |             |
|--------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| A-24         | 県営住宅上井団地3棟外壁改修工事 |  | A2 S=1:100  |
|              | 調査図⑨ (階段廻り)      |                                                                                       |             |
| 株式会社e-MOMENT |                  | 管理建築士 1級建築士登録第354253号 山田 大生                                                           | A3 縮小率70.7% |

鳥取県  
令和6年度  
J2400441  
中部環境建築  
局

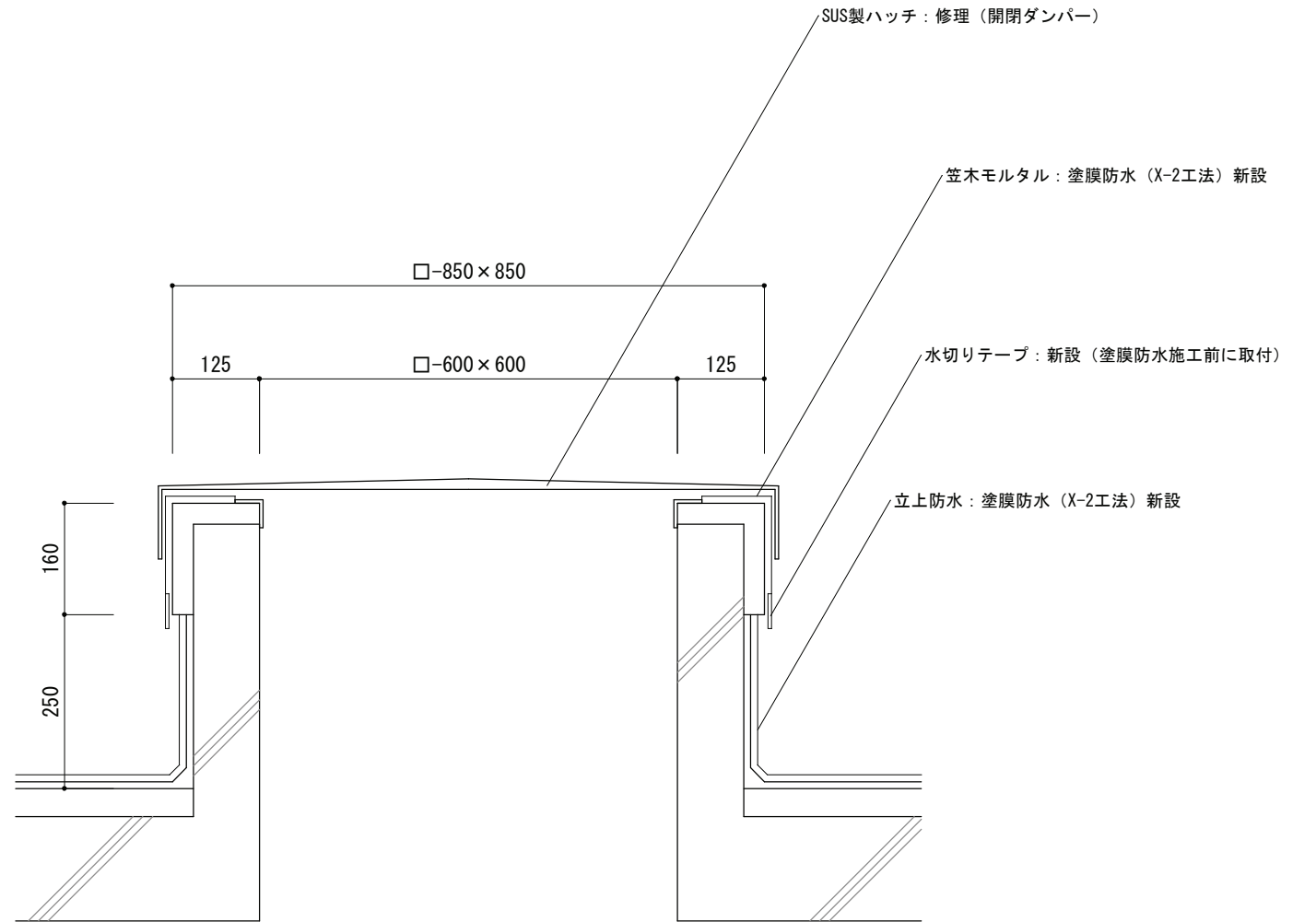




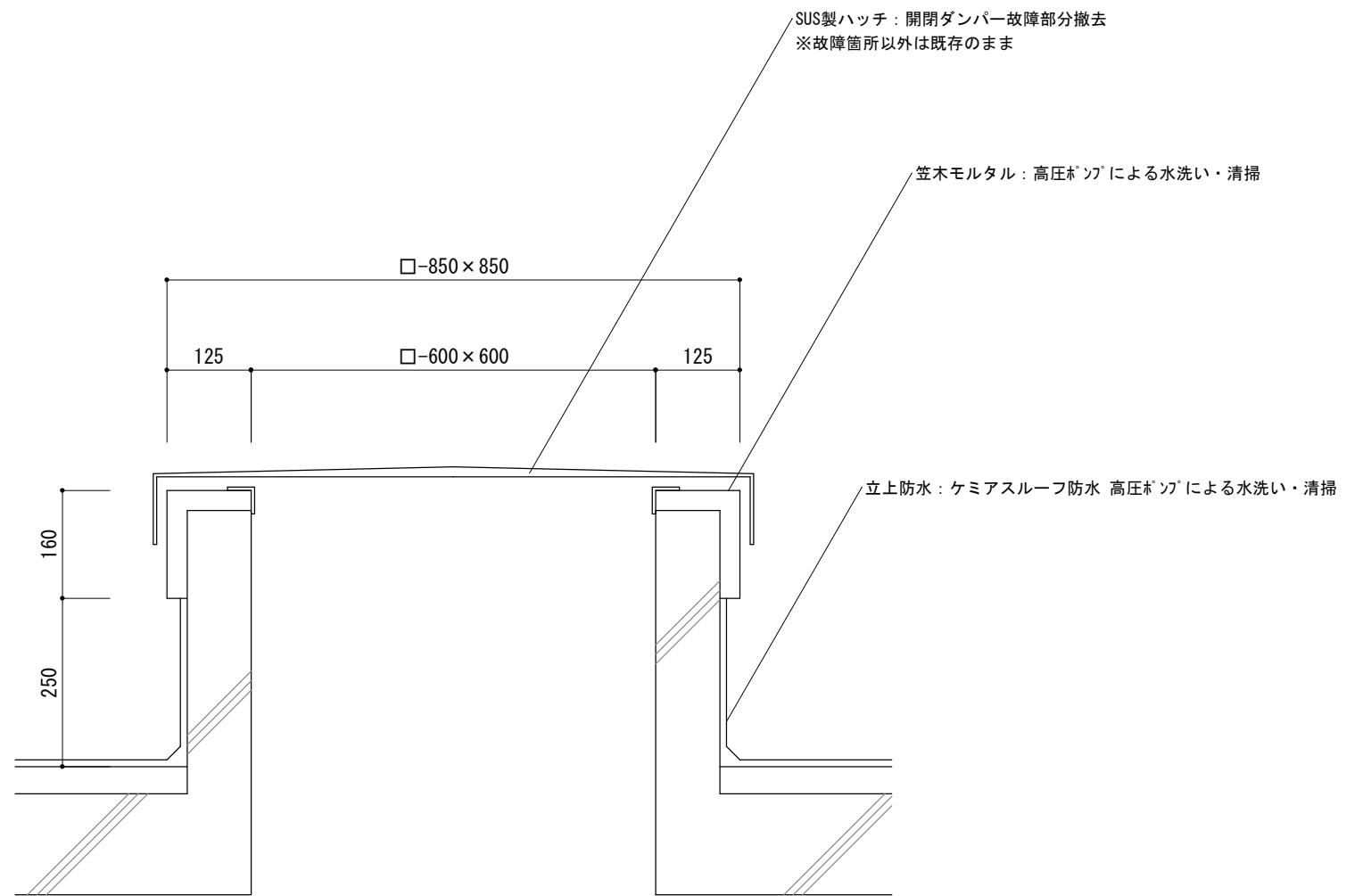
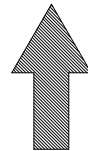
【改修後】



【改修前】



【改修後】



【改修前】

A-26

県営住宅上井団地3棟外壁改修工事

部分詳細図

株式会社e-MOMENT

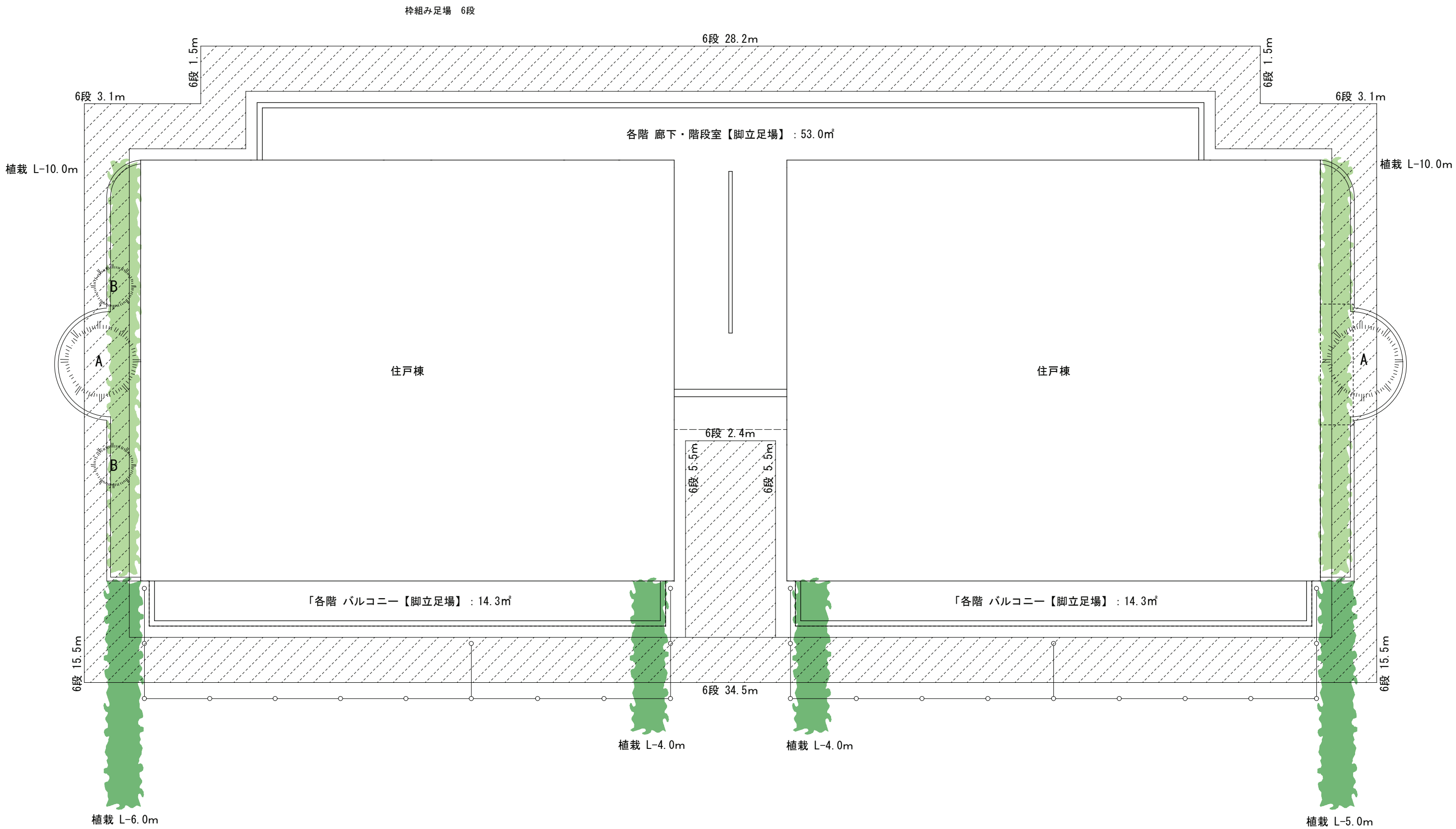
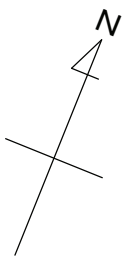
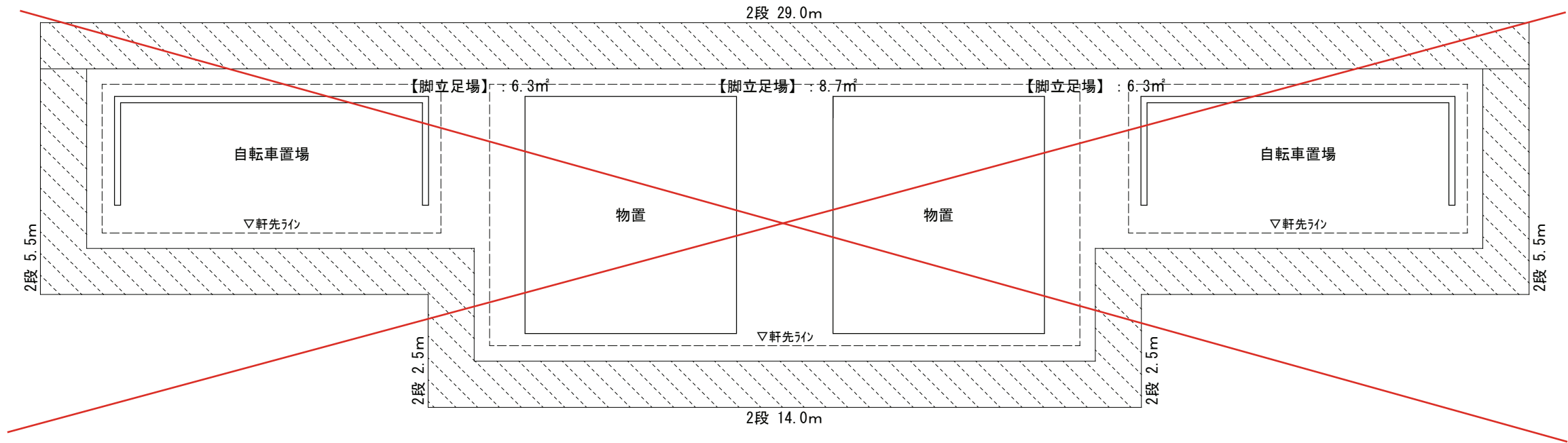
管理建築士 1級建築士登録第354253号  
山田 大生



鳥取県  
令和6年度  
J2400441  
中部環境建築  
局

A2 S=1:10

A3 縮小事70.7%



|            |                                                                        |
|------------|------------------------------------------------------------------------|
| 凡例（記載なき限り） |                                                                        |
|            | 桢組本足場（手すり先行方式） 建桢 900×1700<br>（昇降部分1200×1700）＋防災シート張り                  |
|            | 桢組本足場（手すり先行方式） 建桢 900×1700＋ 防災シート張り                                    |
|            | 植栽 枝幅= 800程度×H= 800程度 → 枝払い                                            |
|            | 植栽 枝幅=2000程度×H=2500程度 → 枝払い                                            |
|            | A：幹周=900 枝幅=2500程度×H=3500程度 → 枝払い<br>B：幹周=900 枝幅=1500程度×H=3500程度 → 枝払い |
|            | 場内 雑草・枝払い（清掃とも） 普通作業員 1人役                                              |

仮設配置図 S=1/100

|              |                    |                             |             |
|--------------|--------------------|-----------------------------|-------------|
| A-27         | 県営住宅上井団地 3 棟外壁改修工事 |                             | A2 S=1/100  |
|              | 仮設計画図（参考図）         |                             |             |
| 株式会社e-MOMENT |                    | 管理建築士 1級建築士登録第354253号 山田 大生 | A3 縮小事70.7% |